

平成27年度（平成26年度対象）

# 教育委員会点検・評価報告書

平成27年9月

新冠町教育委員会

# 目 次

1	はじめに	1
	(1) 趣旨	
	(2) 点検・評価の対象	
	(3) 点検・評価の方法	
2	教育委員会の会議の開催状況及び付議案件	2
3	条例・規則の改正、要綱等の策定	4
4	教育委員会委員の活動状況	5
	(1) 平成26年度教育委員会活動一覧	
	(2) 項目別点検	
	①教育委員会会議	
	②視察・学校訪問	
	③各種行事、会議・研修会の参加	
	④広報活動	
	(3) 教育委員会表彰	
5	教育予算概要	7
6	管理課関連の主な事業	8
7	社会教育関連の主な事業	.
		10
8	認定こども園ド・レ・ミ関連の主な事業	26
9	管理課所管の施策・事業の評価調書	
		28
10	社会教育所管の施策・事業の評価調書	32

# 1. はじめに

## (1) 趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織および運営に関する法律」が改正され（平成20年4月1日施行）教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うことが義務付けられました。

事務の点検・評価は、教育委員会が事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民に対し説明を果たすことを目的としています。

## (2) 点検・評価の対象

平成26年度教育行政執行方針に掲げられた主な施策等を対象としました。

## (3) 点検・評価の方法

主な施策等に対する具体的な取組内容をまとめ、計画、評価内容、今後の課題と必要な取組をまとめ評価といたしました。評価は内部評価と、外部評価とし、関係機関から意見や助言をいただきました。

### ①施策

平成26年度の教育執行方針に基づき、点検、評価の対象となる主な施策を示しております。

### ②施策に対する計画内容

平成26年度に実施した施策の詳細な内容について示しております。

### ③評価内容

実施した施策についての評価の内容を示しております。

### ④今後の課題と必要な取組

施策の課題と今後に必要な取組について示しております。

### ⑤評価の内容

評価については、以下により評価しております。

- ・ A 達成できた
- ・ B 概ね達成できた
- ・ C 達成できなかった

## 2 教育委員会の会議の開催状況及び付議案件

開催回数・期日	付議案件等
第4回 平成26年 4月25日	(報告) ・一般事務報告について ・平成26年度学級編成及び教職員数について ・平成25年度卒業生奨学生の進路状況について (議案) ・新冠町立認定こども園の組織に関する規則の一部改正について ・新冠町立学校規則の一部改正について ・平成26年度新冠町奨学生の選定並びに奨学金の額の決定について ・新冠町社会教育委員の委嘱について
第5回 平成26年 5月27日	(選挙) ・委員長の選挙について (報告) ・一般事務報告について (議案) ・新冠町立学校管理規則の一部を改正する規則について ・各種検定料助成金交付事業要綱の制定について
第6回 平成26年 6月27日	(報告) ・一般事務報告について ・平成26年新冠町議会第2回定例会に関する諸報告について
第7回 平成26年 7月29日	(報告) ・一般事務報告について
第8回 平成26年 8月25日	(報告) ・一般事務報告について (議案) ・平成27年度に使用する小学校用及び中学校用教科書図書の採択について ・新冠町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
第9回 平成26年 9月30日	(報告) ・一般事務報告について ・平成25年新冠町議会第3回定例会に関する諸報告について ・新冠町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について ・平成25年度一般会計決算審査について ・新冠町立認定こども園条例の一部を改正する条例について

開催回数・期日	付 議 案 件 等
<p>第10回 平成26年10月30日</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般事務報告について</li> <li>・平成27年度学級編制及び教職員数（見込）について</li> <li>・平成27年度指導方法工夫改善事業（TT）等の教職員数について</li> <li>・日高判官館青年の家における事故の対応結果について</li> </ul> <p>(協議)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業式・入学式の適切な実施について</li> </ul> <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新冠町小中学校特別支援教育就学指導委員会に関する規則の一部を改正する規則について</li> <li>・新冠町立学校管理規則の一部を改正する規則について</li> </ul>
<p>第11回 平成26年11月26日</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般事務報告について</li> <li>・平成25年度一般会計等決算審査の結果について</li> <li>・平成26年度教育賞及び教育奨励賞表彰の被表彰者の決定について</li> <li>・新冠中学校における集合煙突のアスベスト調査結果について</li> <li>・新冠小学校・新冠中学校の改築に係る考えについて</li> </ul>
<p>第12回 平成26年12月26日</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般事務報告について</li> <li>・平成26年新冠町議会第4回定例会に関する諸報告について</li> <li>・新冠町立学校職員の人事発令について</li> <li>・新冠中学校における集合煙突のアスベスト調査結果について</li> </ul> <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度特別支援学級に就学を要する児童生徒について</li> <li>・教育委員の辞職について</li> </ul>
<p>第1回 平成27年 1月30日</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般事務報告について</li> </ul> <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度学級編制及び教職員数（見込）について</li> </ul> <p>(協議)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度教育行政執行方針について</li> </ul>
<p>第2回 平成27年 2月27日</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般事務報告について</li> </ul> <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新冠町立認定こども園条例の一部を改正する条例</li> <li>・新冠町教育委員会告示規則の一部を改正する規則</li> <li>・新冠町教育委員会会議規則の一部を改正する規則</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新冠町教育委員会傍聴人取締規則の一部を改正する規則</li> <li>・新冠町教育委員会の職務権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則等の一部を改正する規則</li> <li>・新冠町教育委員会公印管理規程の一部を改正する規程</li> </ul> <p>(協議)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度教育行政執行方針について</li> <li>・平成27年度予算概要について</li> </ul>
<p>第4回 平成27年 3月25日</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般事務報告について</li> <li>・平成27年新冠町議会第1回定例会に関する諸報告について</li> <li>・教育委員会職員の人事内示について</li> </ul> <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新冠町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について</li> <li>・新冠町立認定こども園管理規則等の一部を改正する規則について</li> <li>・新冠町子育て支援センター管理運営規則等の一部を改正する規則について</li> <li>・修学旅行の引率業務等に従事する新冠町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部改正について</li> <li>・新冠町立学校職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部改正について</li> </ul>

### 3 条例・規則の改正、要綱等の策定

<p>条例の改正</p> <p>規則の改正</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新冠町立認定こども園条例の一部を改正する条例について</li> <li>・新冠町立認定こども園条例の一部を改正する条例について</li> <li>・新冠町立認定こども園の組織に関する規則の一部改正について</li> <li>・新冠町立学校規則の一部改正について</li> <li>・新冠町立学校管理規則の一部を改正する規則について</li> <li>・各種検定料助成金交付事業要綱の制定について</li> <li>・新冠町小中学校特別支援教育就学指導委員会に関する規則の一部を改正する規則について</li> <li>・新冠町立学校管理規則の一部を改正する規則について</li> <li>・新冠町教育委員会告示規則の一部を改正する規則</li> <li>・新冠町教育委員会会議規則の一部を改正する規則</li> <li>・新冠町教育委員会傍聴人取締規則の一部を改正する規則</li> <li>・新冠町教育委員会の職務権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則等の一部を改正する規則</li> <li>・新冠町教育委員会公印管理規程の一部を改正する規程</li> <li>・新冠町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について</li> <li>・新冠町立認定こども園管理規則等の一部を改正する規則について</li> <li>・新冠町子育て支援センター管理運営規則等の一部を改正する規則について</li> <li>・修学旅行の引率業務等に従事する新冠町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部改正について</li> <li>・新冠町立学校職員の自家用車の公用使用に関する要綱の一部改正について</li> </ul>
---------------------------	---

## 4 教育委員会委員の活動状況

(1) 平成26年度教育委員の活動の状況 ※教育長を除く

期 日	活 動 内 容	委 員 名
4月 3日(木)	認定こども園ド・レ・ミ入園式	委員長外、全委員
4月 4日(金)	教職員辞令交付式及び研修会	委員長外、全委員
4月 8日(火)	新冠中学校入学式	小林委員長
4月 8日(火)	新冠小学校入学式	前川、氏家委員
4月 9日(水)	朝日小学校入学式	前川委員
4月25日(金)	第4回教育委員会	委員長外、全委員
5月15日(木)	日高管内教育委員会連絡協議会総会及び合同会議	小林委員長
5月27日(火)	第5回教育委員会	委員長外、全委員
5月31日(土)	新冠中学校体育祭	委員長外、全委員
6月 7日(土)	朝日小学校運動会	委員長外、全委員
6月15日(日)	新冠小学校運動会	委員長外、全委員
6月27日(金)	第6回教育委員会	委員長外、全委員
7月 6日(日)	認定こども園ド・レ・ミ 運動会	委員長外、全委員
7月9日～10日	教育委員研修(札幌市・全道吹奏楽コンクール視察)	委員長他、全委員
7月29日(火)	第7回教育委員会	委員長外、全委員
9月 2日(火)	教育委員学校訪問 新冠小学校・認定こども園・新冠中学校	委員長外、全委員
9月10日(水)	教育委員学校訪問 朝日小学校	委員長外、全委員
9月18日(木)	新冠中学校学校祭	委員長外、全委員
9月30日(火)	第8回教育委員会	委員長外、全委員
10月2日～3日	日高管内教育委員研修会	委員長外、全委員
10月17日(金)	新冠小学校学習発表会	委員長外、全委員
10月25日(土)	朝日小学校学芸会	委員長外、全委員
10月30日(木)	第9回教育委員会	委員長外、全委員
10月30日(木)	新冠町少年国内研修交流事業参加者面接	委員長外、全委員
11月 3日(月)	新冠町功労賞贈呈式	委員長外、全委員
11月15日(土)	認定こども園ド・レ・ミ おゆうぎ会	委員長外、全委員
11月26日(水)	第10回教育委員会	委員長外、全委員
12月 3日(水)	教育委員会学校視察研修	委員長外、全委員
12月26日(金)	第11回教育委員会	委員長外、全委員
1月11日(日)	教育賞・教育奨励賞・農水新冠賞・森みつ少年少女文芸賞授与式、成人式	委員長外、全委員
1月15日(木)	教育委員研修	委員長外、全委員
1月30日(金)	第1回教育委員会	委員長外、全委員
2月 3日(火)	教育委員会第2回学校訪問 新冠小学校、新冠中学校	委員長外、全委員
2月 6日(金)	教育委員会第2回学校訪問 認定こども園、朝日小学校	委員長外、全委員
2月26日(木)	少年国内研修交流事業報告会	委員長外、全委員
2月27日(金)	第2回教育委員会	委員長外、全委員
3月 9日(月)	第3回教育委員会	委員長外、全委員

3月13日(金)	新冠中学校卒業式	委員長、下山委員
3月19日(木)	朝日小学校卒業式	前川委員
3月20日(金)	新冠小学校卒業式	委員長
3月24日(火)	認定こども園ド・レ・ミ卒園式	委員長外、全委員
3月25日(水)	第4回教育委員会	委員長外、全委員

## (2) 項目別点検

### ①教育委員会による点検

教育委員会会議については、原則毎月1回として開催する定例会と、必要に応じて開催する臨時会があり、保育・教育に関する様々な案件について検討し議決しております。

定例会の内容につきまして本年度から発行しております「教育委員会だより」により、町民の方々に広く周知しております。

### ②視察・学校訪問

新冠町教育委員会では、年間2回の学校訪問を行い、学校経営について、また、経営の進捗状況について、普段の児童生徒の学習の様子を視察するとともに、学校、こども園の設備等の状況について視察訪問しております。

また、各小中学校の老朽化を鑑み、日高管内の浦河塚町小学校、様似小学校の新築校舎の視察及び建設経過等について研修を行っております。

### ③各種学校行事、会議、研修会等への参加

町内の小中学校、認定こども園ド・レ・ミの入学式、卒業式に委員長、各委員、教育長が出席しております。

また、各種会議・研修会に参加するとともに、定例会終了後に懇談を持ち、委員の資質向上に向けた取り組みを実施しております。

特に本年度は、平成27年度からスタートする「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」の施行、「新たな子ども・子育て支援新制度」の施行に伴い、共通理解をするとともに新たな取組について協議しております。

### ④広報活動

平成26年度より、「教育委員会だより」を発行し、定例会において議決した内容、全国学力学習状況調査の結果、体力運動能力調査結果について記載し、公表しております。

## (3) 教育委員会表彰の実施

新冠町の教育・文化、スポーツ活動の振興発展に尽力し、その功績顕著な個人または、団体を表彰し、本町教育の振興発展を図る目的により、その栄誉を讃えております。

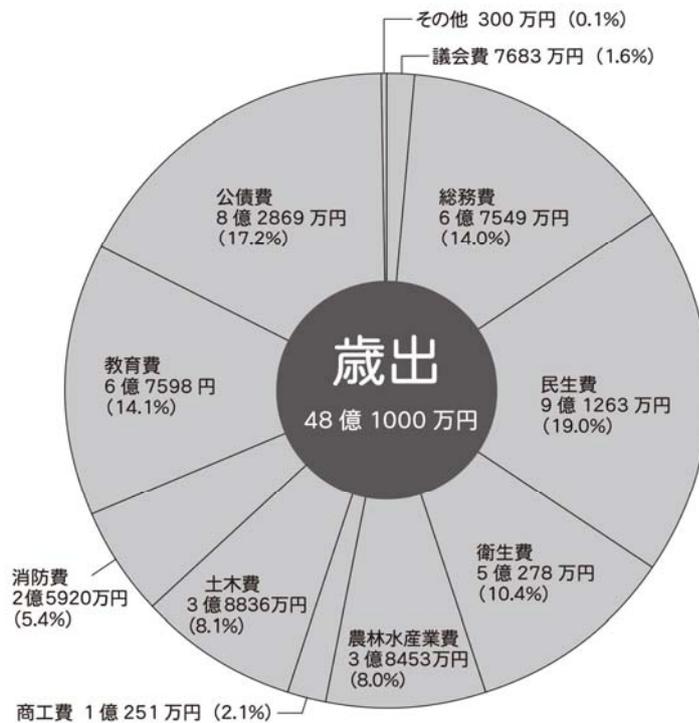
### 【平成26年度の受賞者】

・新冠町スポーツ賞 小山達平

第69回国民体育大会馬術競技大会、少年団体障害飛越競技において優勝

- ・芸術文化賞 野 尻 悠 介  
第38回全国高等学校総合文化祭いばらき総文2014美術・工芸部門において北海道代表として出展
- ・芸術文化賞 尾 形 優 衣  
第48回中学生の「税についての作文」において、札幌国税局長賞を受賞
- ・スポーツ奨励賞 新冠中学校男子バレー部  
平成26年度日高地区中学校体育大会男子バレーボール大会において優勝
- ・芸術文化奨励賞 新冠中学校吹奏楽部  
第59回日胆地区吹奏楽コンクール中学校C編制において金賞を受賞

## 5 教育委員会予算状況



### ○予算（歳出）の概要

(単位 千円)

款	項	金額
9 教育費		675,978
	1 教育総務費	133,129
	2 小学校費	72,777
	3 中学校費	50,066
	4 認定こども園費	157,881
	5 社会教育費	196,663
	6 保健体育費	65,462

## 6 管理課所管の事業の状況

### 管理課管理グループ事業関係

事業名	開催期日	場所	事業内容等
校長会			月に一度、町内各小中学校長を招集し、定例校長会を開催
	4月 4日	教育相談室	臨時校長会 教育委員会職員体制等
	4月28日	教育相談室	主任命課等、交流協議
	5月20日	教育相談室	フッ化物洗口の実施、体力向上推進委員会について協議
	6月24日	教育相談室	現職教員研修、ICT委員会の立ち上げについて
	7月23日	教育相談室	新冠町学力向上「学習サポート」取組状況について
	8月26日	教育相談室	学力学習状況調査、教育課程の管理について
	9月29日	教育相談室	平成26年度教育行政執行方針と学校経営マネジメント
	10月27日	教育相談室	指導監学校訪問について、交流協議
	11月21日	教育相談室	幼小連携の取組について
	12月15日	教育相談室	平成26年度を振り返って
	1月26日	教育相談室	平成27年度教育行政執行方針について
	2月20日	教育相談室	学校マネジメント(PDCA)後半期の進捗状況について
3月 9日	教育相談室	臨時校長会議 教職員人事について	
企画会議			教育委員会管理課、社会教育課による内部会議、月に1度開催
	5月22日	教育相談室	第2回定例会の日程について、レ・コード館誕生日事業について
	6月22日	教育相談室	夏季休業中のスクールバスの運行、体力向上推進委員会について
	7月25日	教育相談室	フッ化物洗口の実施状況、学校訪問について
	8月21日	教育相談室	吹奏楽クリニック、森みつ少年少女文芸賞の作品募集について
	9月25日	教育相談室	教育委員研修について、少年国内研修交流事業について
	10月22日	教育相談室	定期監査、決算審査の実施について
	11月18日	教育相談室	第4回定例会の日程について、つうがく合宿について
	12月10日	教育相談室	教育賞・教育奨励賞表彰式について、成人式について
	1月22日	教育相談室	教育委員学校訪問、平成27年度学級編制及び教職員数について
	2月17日	教育相談室	第3回定例議会の日程について
	3月17日	教育相談室	教育委員会事務局職員の人事異動、平成27年度教育行政執行方針について
	フッ化物洗口事業	5月20日	新冠町役場
6月17日		新冠町役場	PTA代表との懇談により説明
6月30日		朝日小学校	フッ化物洗口実施説明会(職員・保護者対象) 講師: 苫小牧保健所 主任技師 中山 佳美 氏
7月 1日		新冠小学校	フッ化物洗口実施説明会(職員・保護者対象) 講師: 苫小牧保健所 主任技師 中山 佳美 氏
9月 3日		朝日小学校	フッ化物洗口実施(1.2年生)の実施
9月 8日		新冠小学校	フッ化物洗口実施(1.2年生)の実施

体力向上推進委員会 ・推進委員会	7月1日	新冠町役場	経過説明、平成26年度の実施計画について
	10月 7日	新冠町役場	新冠町における体力テストの実施状況、新体力テスト実施要綱(案)
	2月23日	新冠町役場	平成26年度体力運動能力調査結果について、次年度に向けて
・専門部会	7月 1日	教委相談室	平成26年度における実施計画について
	9月11日	教育相談室	新体力テスト実施要綱(案)について
	2月 5日	教育相談室	平成26年度体力運動能力調査結果について
ICT教育推進委員会	7月14日	役場201会	・役員の選出、平成26年度実施計画について
	11月25日	役場201会	・アンケート集約結果について、今後の取組について
地教委セミナー・ IN 新冠 新冠町小中学校 教育支援委員会	2月4日	役場201会	・教育機器活用状況、今年度の反省、次年度計画について
	9月26日	役場201会	・「タブレットPCの基本操作及び授業実践例の紹介」 講師 北海道立研究所 研究研修主事 中島 泰彰 氏
	12月 25日	役場201会	・委員長・副委員長の選任について ・平成25年度就学児童生徒の現況について ・平成26年度児童生徒に係る特別支援学級入級判定について
奨学審議委員会	4月21日	教育相談室	・平成25年度に卒業した新冠町奨学生の進路状況について ・平成26年度奨学生となるべき者の氏名及び奨学金の額の決定について
現職教員研修	5月16日	町内	・「新冠町の環境・施設めぐり」～レ・コード館、資料館等の視察研修
	5月25日	判官館	・「判官館ウォーキング」～義経伝説、植物等の研修
	7月 5日	役場202会	・「生徒指導について」「図工指導について」 講師 新冠小学校 石田清美教諭 朝日小学校 深井聖一教諭
	10月 2日	朝日小学校	・教育研究所授業研究・授業参観 授業 算数【単分量あたりの大きさ】 朝日小学校 宮本光子教諭
	11月18日	新冠中学校	・教育研究所授業研究・授業参観 授業 社会科地理(中部地方) 新冠中学校 池ヶ谷北斗教諭
	2月13日	レ・コード館	・健全育成合同研修会 講演「地域における健全育成の推進について」 講師:コンサドーレ札幌 曾田雄志 氏

## 7 社会教育事業の状況

### 1 青年教育関係事業

事業名	開催期日	場所	事業内容等
成人式(成人の集い)	1月11日	レ・コード館	<p>式典及び成人の集いの実施(協力:町青年団体協議会)</p> <p>対象:平成6年4月2日~平成7年4月1日生まれの者</p> <p>式典:新成人46名 来賓29名 保護者及び一般22名 計97名</p> <p>集い:新成人43名 来賓15名 保護者15名 計73名</p>
町勤労青少年育成会事業(補助)	5月10日	明和地区	<p>笹山ハイキング 参加者 大人:17名、子ども:14名 合計31名</p>
町青年団体連絡会議事業(補助)			<p>町内青年団体により構成。</p> <p>加盟団体:町青年団体協議会、農協青年部、商工会青年部 軽種馬振興会青年部、4Hクラブ</p>
	8月7日	町内一円	<p>事業名:北海道の七夕「ろうそくだせ」</p> <p>参加者:72名(小学生) 引率20名 18事業所</p>
	8月16日	役場前駐車場	<p>事業名:ふるさと盆踊り事業</p> <p>来場者:約800名</p>
	12月6日	レ・コード館前	<p>事業名:イルミネーション点灯事業協力(主催:商工会青年部)</p> <p>参加者:300名(各イベントの合計参加者数)</p>
町青年団体協議会事業(補助)	5月31日	新冠川河口	<p>事業名:青年交流事業(カヌー体験及び交流会)</p> <p>参加者:16名参加</p>
	8月16日	役場前駐車場	<p>事業名:ふるさと盆踊り事業(主管)</p> <p>来場者:約800名</p>
	11月21日	レ・コード館	<p>事業名:優駿の塔ワインのタベ</p> <p>来場者:43名</p>
	11月29日~ 30日	白老・苫小牧 方面	<p>事業名:研修旅行</p> <p>参加者:6名(会員)</p>
	通年		成人式ほか社会教育事業への協力など

## 2 女性教育事業関係

事業名	開催期日	場所	事業内容等
町女性コミュニティ会議事業(補助)	8月1日	レ・コード館	町内自治会婦人部、及び産業団体婦人部により構成 18歳以上の町内女性を会員とする。
	9月28日	レ・コード館	あなたの体 見えるか体験 参加者17名
	10月19日	レ・コード館	ノルディックウォーキング教室 参加者15名
	11月20日	レ・コード館	秋のお楽しみ広場協賛
	11月21日	レ・コード館	イルミネーション飾り付け事業
	12月22日	レ・コード館	アレンジフラワー教室 参加者 50 名
	3月25日	レ・コード館	映画鑑賞会 参加者 30 名
	通年	町内全域	買い物袋還元事業(この事業は今年度で終了します)

## 3 成人教育事業関係

事業名	開催期日	場所	事業内容等
プラスワンセミナー事業	12月18日	レ・コード館	演題 「ケータイ・インターネットのトラブルから子ども達を守るために」 参加者45名 講師 磯野 爽(いその さやか) 経歴 元札幌市PTA協議会会長/元日本PTA全国協議会理事 現警察庁少年有害環境対策検討委員会委員
	3月7日	レ・コード館	実験教室「シブ薬の仕組みを知ろう」 対象:小学校5年生から高校生まで 参加者 23 名 講演「北大生に聞く 勉強と大学生活あれこれ」 対象:保護者及び中高生 参加者 32 名 講師:北海道大学大学院薬学研究院 市川 聡 准教授 北海道大学学生 3名
生涯学習講座	7月10日	陶芸館	◇うるおいある生活、充実した生活づくりを進めるため、趣味と教養を身につけることができるよう各種講座を開催する。 事業名:簡単にできる陶芸教室(全2回) 講師:新冠町陶芸サークル一同 ・第1回:参加者6名
	9月4日	陶芸館	・第2回:参加者5名 延11名 事業名:初めてでも大丈夫☆油彩画・水彩画を体験講座(全2回) 講師:千代明氏 協力:新冠町アトリエの会

家庭教育学級	8月23日	レ・コード館	・第1回:参加者10名
	8月30日	レ・コード館	・第2回:参加者9名 延19名
ボランティア受入事業	3月18日	レ・コード館	事業名:ジェルネイル体験講座 参加者9名 講師:JNAネイリスト 浅野 美鈴 氏
	12月18日	レ・コード館	プラスワンセミナー事業と共催で実施
	通年	レ・コード館等	・舞台スタッフボランティア養成講座 近隣高校に対しボランティア活動機会を提供することを目的とし、レ・コード館町民ホールでの舞台スタッフボランティアを体験してもらう。  6/8 舞台技術講座 7名 スタッフ受入 11/15 ド・レ・ミお遊戯会 2名 1/14 ニューイヤーコンサート 1名
	2月21日	青年の家	・ボランティア養成講座 ボランティアの基礎を学び、同日実施している「つうかく合宿」事業においてボランティアとして実践する。7名参加

#### 4 高齢者教育事業関係

事業名	開催期日	場 所	事業内容等
新冠町いきいき大学	5月19日	レ・コード館	・開講式及び第1回合同学習会(なつかしの歌手レコード鑑賞) 34名参加
	6月7日	レ・コード館	・第2回合同学習会(レ・コード館誕生日との合同実施) 34名参加
	7月30日	苫小牧市	・第3回合同学習会(苫小牧市施設見学:リサイクルセンターと美術博物館) 33名参加
	8月27日	レ・コード館	・第4回合同学習会(フラワーアレンジメント教室 お喜楽☆お達者塾合同事業) 55名参加
	10月8日	資料館等	・第5回合同学習会(新冠町内施設見学と歴史探訪等) 39名参加
	11月28日	レ・コード館	・第6回合同学習会(エンディングノート作成 お喜楽☆お達者塾との合同、一般参加も可) 46名参加
	2月26日	レ・コード館	・修了式及び第7回「押し花教室」合同学習会(お喜楽☆お達者塾との合同)44名参加  ※事業の実施にあたっては、保健福祉課「お喜楽☆お達者塾」との相互連携を図りながら実施する。

## 5 文化振興事業関係

事業名	開催期日	場 所	事業内容等
音楽交流・体験事業 楽器体験講座	4月10日 ～7月14日	町民センター、 レ・コード館	小中学生の音楽に関わる機会の提供と音楽を通じての世代間交流を目的とし、レコード&音楽によるまちづくりの一環として、楽器体験講座を実施。 全17回 修了者14名 講師：軽音楽愛好会ブルーホース
GW特別企画コンサート	5月3日～4日	レ・コード館	◇当町に観光客を留めるため、観光協会の屋外イベントに合わせて、昭和音楽大学OBによるコンサートを実施。 実施形態：2日間で、午前、午後1回ずつの計4回 出演者：ハバネロサクソ四重奏団 来場者：3日 1部：80名 2部：56名 4日 1部：74名 2部：76名 合計286名
吹奏楽クリニック	年間、全5回	新冠中学校、 レ・コード館	◇事業内容：主に新冠中学校吹奏楽部への演奏・技術指導。 講師：昭和音楽大学准教授 福本信太郎氏
	6月28～29日	新冠中学校 他	新冠中学校吹奏楽部を対象に、吹奏楽指導を実施。(1回目)
	7月24～25日	レ・コード館 他	新冠中学校・静内高校を対象に、吹奏楽指導を実施。(2回目)
	8月25～26日	レ・コード館 他	新冠中学校・静内高校を対象に、全道大会に向け技術指導を実施。(3回目)
	12月22日～ 23日	新冠中学校	新冠中学校を対象に、吹奏楽指導を実施。(4回目)
	2月10日～ 11日	レ・コード館	新冠中学校を対象に、吹奏楽指導を実施。(5回目)  ※9月に開催されました全道吹奏楽コンクールにおいて、新冠中学校は銅賞、静内高校は金賞を受賞。
アウトリーチコンサート	2月20日	朝日小学校・ 新冠小学校	◇町民及び町内小学校に質の高い音楽鑑賞の機会を提供し、新冠町の音楽文化の向上を図る。 朝日小学校：午前10時30分～11時10分  新冠小学校：午後1時15分～1時55分 出演者：昭和音楽大学声楽6名

声楽コンサート	2月20日	レ・コード館	昭和音楽大学レ・クワットロ・スタジオニが贈る「歌の花束」 時間:午後 6 時 30 分～8 時 00 分 出演団体:昭和音楽大学声楽関係者 6 名、合唱団Vol、シングシング 来場者:250 名
子ども芸術劇場	9月8日	レ・コード館	◇児童の情操教育等の促進を目的とした演劇鑑賞事業 演目:「モンゴルの白い馬」 観覧者 333 名 劇団:劇団風の子北海道
町文化協会事業 (補助)			新冠町民文化祭 趣旨:新冠町の芸術文化の発展を図り、町民一人一人が健康で 文化的な生活を送るため、年に一度の文化の祭典である 町民文化祭を開催し、明るく豊かな町づくりに参画できるよう 実施する。
	10月18日	レ・コード館	「芸能発表会」 出演 17 団体 来場者 274 名
	10月24日～ 26日 (3日間)	レ・コード館	「総合作品展」 出展 16 団体、他 来場者 634 名 他、管内道民芸術祭への協力

## 6 生涯学習事業関係

事業名	開催期日	場 所	事業内容等
人材バンク派遣事業	通年	町内	講師登録制度を利用した学習機会の提供 まなボード及び学校等に対するPRを行う。 講師メニューPRによる利用の促進。 4/9 接客・接遇マナー講座 講師 長浜 智美 4/11 人生講和 講師 東 義海 5/2 植物観察 講師 大下 謙二 7/28 化石発掘体験 講師 吉川 幸叙 10/24 エコクラフト 講師 中山 千鶴子 12/22 アレンジフラワー 講師 但野 裕之 2/19 エコクラフト 講師 中山 千鶴子 3/3 エコクラフト 講師 中山 千鶴子 ※9月～10月にかけて、当該事業登録講師の更新確認を行った。 結果、11名が講師を辞退することとなり、登録講師数は45名となった。
まなボード発刊事業	毎月		社会教育関連の情報提供(第4週目 金曜日)

## 7 郷土資料館事業関係

事業名	開催期日	場所	事業内容等
ふるさと再発見講座	6月21日	新冠町内	ふるさとの歴史や自然について、講話や観察会を通して学ぶ。今年度は、一般向けの詳しい内容となるようにする。専門的な事項をわかりやすく説明するため、内容によっては外部講師を活用する。 ・「ふるさと文化財めぐり」：ふるさとのかくされた歴史や自然、アイヌ伝説の地をバスでめぐりながら学ぶ 講師：当館学芸員 35名参加
	8月27日	レコード館	・「名勝ピリカノカ幌尻岳学習会①」：名勝ピリカノカに指定された幌尻岳にまつわるアイヌ伝承とアイヌ文化を紹介する。42名参加 講師：新冠郷土文化研究会会員、平取アイヌ文化博物館学芸員、当館学芸員
	3月1日	レコード館	・「名勝ピリカノカ幌尻岳学習会②」：名勝ピリカノカに指定された幌尻岳の豊富な自然相を紹介する。75名参加 講師：日高山脈博物館学芸員、新冠山岳会、幌尻岳自然保護監察員
ふるさと伝承活性化事業	通年	資料館、町内ほか	知られざるふるさとの歴史を残すとともに、野外展示や看板、石碑、教材を通じて積極的に後世へと伝承を図る。
	7月11日		・大狩部御野立所公園の看板更新：老朽のため、破損した案内看板を更新し、由緒ある御野立所の歴史を多くの人に知ってもらう。 新しい案内看板を設置：7月11日完了
	7～8月		・「万里のチャシ」と「バツタリとかや葺小屋」の補修 郷土文化研究会とバツタリの調整や牧柵の防腐剤処理を行う
	随時		・エコミュージアム石碑、ふるさとの木、伝説看板の整備、周辺の草刈等を行う
郷土資料館整備事業	随時		・ふるさとカルタの活用：ふるさとカルタの活用を促進する。要望があればカルタ貸出しや、学芸員がカルタを通した歴史や出来事の説明も行う。
	通年	資料館	収蔵している資料を整理し、資料のリスト化を図って先人が築いた文化の保存・記録・伝承を行う資料館本来の施設運営を目指す。また、老朽した部分の補修を行い、利用しやすい環境をつくる。
	6月～7月		・資料館トイレの改修工事：和式から洋式に変更する。 7月11日：工事完了

	通年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・収蔵施設の整備:第2収蔵庫内保管資料を整理する。空いているスペースに棚を増設したり、保存用コンテナを整備し、適切な資料保存を目指す。</li> <li>新しい棚を2台設置:7月18日完了</li> <li>資料館本館から第2収蔵庫への資料移動</li> </ul>
	通年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・収蔵資料のリスト化:資料を整理しながらリスト化し、展示や事業に際して効率的な活用を目指す。</li> </ul>
特別展・移動展	11月4～29日	資料館	あるテーマに沿った内容の展示を行う。今回はできるだけ実物資料を多くしたい。より多くの方に見ていただくため、資料館だけではなく、小学校にも会場を移し展示する。
「ふるさとの伝説・昔話パネル展」	12月2～5日	朝日小学校	・「ふるさとの伝説・昔話パネル展」:名勝ピリカノカに指定された幌尻岳をはじめ、新冠にまつわるアイヌ伝承、判官伝説、知られざるエピソードについて紹介する。
	12月9～12日	新冠小学校	
名勝ピリカノカ指定事業	通年	資料館など	<p>名勝ピリカノカに指定された「幌尻岳」について、保護や保存、利用の方策を検討・調査研究を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登山道路の取扱いについて協議(先方から要望がありしだい)</li> <li>・案内看板等設置のための視点場の検討と調査:来年度以降、案内看板を温泉駐車場付近、案内プレートをレ・コード館展望塔に設置に設置する方向で検討している。</li> <li>・北海道大学大学院が幌尻岳に気温観測の機器を設置したいと申請があり、9月19日付で文化庁より設置の許可がされる。</li> </ul>
「新冠百話」に伴う調査研究	通年	資料館など	<p>調査研究テーマを構築するものとして、新冠の歴史などの逸話をまとめた刊行物の発刊を目指す(レ・コード館20周年を迎える平成29年度発刊予定)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・刊行物の内容を検討する</li> <li>・現段階の記録物をデータ化し、刊行物編集に備える:100話分データ化については概ね終了したので、現在はどのような内容にするのか編集を行っている。</li> </ul>
	6月5日	資料館	・読み聞かせびつくり箱と アイヌ伝説について勉強会を行う。
文化財の活用と保護	随時		<p>天然記念物や埋蔵文化財等、文化財の保護と活用について、協議があれば手続き等対応を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天然記念物新冠泥火山の保護と見学対応:随時</li> <li>6月6日:札幌市山岳研究者が泥火山見学</li> </ul>

学校との連携と資料館の利用	通年	資料館	<p>・埋蔵文化財の保護:①日高自動車道建設工事に係る試掘調査など、開発工事区域と埋蔵文化財が近接している場合は事前協議を行う。(来年度に3カ所で試掘調査を行う予定) ②その他開発工事予定区域に埋蔵文化財の所在についての協議があり、いずれも所在がないため工事着工可の回答をする。</p> <p>学校での社会科見学やふるさと学習で見学・指導希望があれば、学芸員が随時対応してわかりやすい学習機会を提供する。またアイヌ文化体験トンボ玉づくりの要望があれば対応する。</p>
	5月8日	青年の家	・浦河第2中学校トンボ玉製作体験:35名
	7月4日	青年の家	・新冠小学校5年生トンボ玉製作体験:36名
	7月18日	資料館	・札幌学院大学トンボ玉製作体験と資料館見学:8名
	8月28日	青年の家	・えりも町四校会 トンボ玉製作体験:19名
	9月3日	資料館	・新冠中学校1年生 新冠泥火山について学習する:3名
	10月29日	資料館	・新冠小学校4年生 新冠の伝説について学習する:7名
	10月30日	資料館	・新冠小学校4年生 判官館の自然について学習する:3名
	11月12日	資料館、町内	・朝日小学校6年生 新冠の水害の歴史を学習:10名
	11月25日	資料館	・朝日小学校3年生 開拓時代の学習:14名
	2月5日	資料館	・新冠小学校3年生 昔の道具調べ:31名
	2月15日	資料館	・新冠小学校PTA研修部 トンボ玉製作体験:17名(親子)
	2月18日	資料館	・高静小学校3年生 新冠の風土と昔の道具調べ:84名

## 8 レコード館事業関係

事業名	開催期日	場所	事業内容等
レコードコンサート	通年	レコード館	<p>収蔵レコードの活用と、リラクゼーションの提供</p> <p>4月17日「ホイットニー・ヒューストン特集」来場者7名</p> <p>5月15日「ざ・落語特選」来場者6名</p> <p>6月18日「中島みゆき」特集 来場者18名</p> <p>7月16日「ザ・ビーチボーイズ」特集 来場者18名</p> <p>8月20日「松山 千春」特集 来場者24名</p> <p>9月18日「ローリング・ストーンズ」特集 来場者15名</p> <p>10月15日「ジェットストリーム プロログ・エピソードナレーション 城 達也」来場者15名</p> <p>11月19日「80年代ジャニーズアイドル 特集」来場者5名</p> <p>12月17日「洋楽バラード特集」来場者8名</p> <p>1月21日「ニューイヤーコンサート2015」来場者10名</p> <p>2月18日「吹奏楽特集」来場者9名</p> <p>3月18日「中森明菜特集」来場者29名</p>

音の日レコードコンサート	12月17日	町内福祉施設	◇エジソンが蓄音機を発明した記念日に合わせて、福祉施設などで出張レコードコンサートを開催。 ・高齢者共同施設あいあい荘 15名 ・特別養護老人ホーム恵寿荘 31名
	12月19日	町内福祉施設	・グループホームゆーあい天馬 16名 ・有料老人ホームおうるの郷 28名
出張レコードコンサート	6月4日～8日	札幌市資料館	◇寄贈されたレコードの有効活用とレコード館のPR、を目的とし都市部でSP・LPレコードのコンサートを開催する。 また、レコードを活用した事業展開を行っている施設とのネットワークを構築する。 来場者：約 2,500名
	9月5日～30日	釧路芸術館	当該芸術館で開催している絵画展の企画に合わせた内容で実施。  主に 1900年代始めのクラシック及びジャズの曲を中心に実施。 9/6 レコードコンサート全3回 来場者 57名 9/7 レコードコンサート全1回 来場者 19名
	1月21日～26日	札幌市かでの2・7	1階ロビーにおいてジャケット展示及びレコード館PRを実施  期間内1日のみレコードコンサート(全1回)を実施 80名 展示期間内における来場者 961名
	通年	石屋製菓	Sレコードの貸与 貸出数52枚
	通年	レコード館	レコード館ジュニアジャズバンドの運営
ジュニアジャズバンド運営事業(補助)		町民センターほか	・定期練習 毎週月曜日 指導～ブルーホース ・特別練習 毎月2回程度 指導～音楽監督 若林雅久氏ほか ・演奏会 6月29日 みんなの祭(新ひだか町) 7月6日 サッポロビール道産子感謝Day (サッポロビールサッポロガーデンパーク 札幌市) 8月16日 北海道ジャズ(小樽港第3ふ頭多目的広場) 9月21日 新冠ビックバンドジャズフェスティバル 9月27日 ペテカリ祭(新ひだか町) 10月5日 様似小学校PTA研修会(様似町)  1月3日 苫小牧ジャズ&ポップミュージックライブ(苫小牧市) ・第8回定期公演会 11月23日(日) 来場者 204名

レ・コード館誕生記念日	6月7日	レ・コード館	<p>有料施設の無料開放(349名)</p> <p>誕生記念日ロビーコンサートの無料開催(約80名)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・瀧本 志保 ヴァイオリンコンサート</li> <li>・粥川なつ紀 Saxコンサート</li> <li>・レ・コード館ジュニアジャズバンドコンサート</li> </ul> <p>道の駅特別企画の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グリーンハウス全品2割引(約200件)</li> <li>・レストラン樹林ザンギカレー350円(完売)</li> <li>・道の駅物産店ソフトクリーム100円(66本、昨年約100本)</li> </ul>
レ・コード館自主企画委員会(補助)	4月28日	レ・コード館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダヌーツ・マーニャ/栗原ひろみクラシックコンサート</li> </ul> <p>チケット販売枚数60枚、入場者数57枚</p>
	6月14日	レ・コード館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吉田兄弟15周年記念「三味線だけの世界」コンサート</li> </ul> <p>チケット販売枚数352枚、入場者数347人</p>
	8月22日	レ・コード館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こまどり姉妹ドキュメンタリー映画&amp;トークライブ</li> </ul> <p>チケット販売枚数337枚、入場者数316人</p>
	9月19日	レ・コード館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャズフェス あっちこっちコンサート</li> </ul>
	9月20日	レ・コード館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新冠町ビックバンド・ジャズ・フェスティバル前夜祭</li> </ul> <p>入場者数102人</p>
	9月21日	レ・コード館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新冠町ビックバンド・ジャズ・フェスティバル本祭</li> </ul> <p>チケット販売枚数149枚(内、招待券38枚)、入場者数131人</p>
	12月7日	レ・コード館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リトルベアーズライブ</li> </ul> <p>チケット販売枚数123枚、入場者数121人</p>
	1月31日	レ・コード館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・M-TOY-BOXコンサート</li> </ul> <p>チケット販売枚数41枚、入場者数38人</p>
3月7日	レ・コード館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラックビートルズLIVE</li> </ul> <p>チケット販売枚数119枚、入場者数121人</p>	

## 9 図書プラザ事業関係

事業名	開催期日	場所	事業内容等
読書週間等企画事業 子どもの読書週間事業	4月23日～	図書プラザ	<p>秋の読書週間や子どもの読書週間、小学校の夏休み期間において、広く町民に向けた読書啓発の取組を実施します。</p> <p>企画展示</p>
	5月12日		①「電車でいこう！」
	5月5日	シアター	②「さわってあそぼう！布のえほん」を実施
	4月29日・	図書プラザ	おたのしみ上映会「こびと観察入門」 来場者69名
	5月10日		かんたん！たのしい！工作教室(計4回) 参加者延べ23名

<b>夏休み特別事業</b>	7月25日～ 8月17日	図書プラザ	企画展示「ひろいなふしぎだな 海の本特集」を実施  おたのしみ上映会
	8月2日	シアター	①「ムーミン パペットアニメーション」 来場者26名
	8月11日	シアター	②「こびと観察入門」 来場者31名
	7月31日	図書プラザ	夏休み工作教室(計10回)
	8月4～6日		①ペットボトル水車 2日間 4回 参加者23名
	8月9日		②ミニ七夕かざり 3日間 6回 参加者23名
<b>秋の読書週間事業</b>	10月27日～ 11月9日	図書プラザ	企画展示「写真をたのしむ ～レンズを通してみる世界～」実施  リサイクル市 除籍資料及び寄贈の一部を希望者に配布 配布者数 206名 配布冊数 1,693冊
	11月3日	シアター	映画上映会「家で死ぬということ」 来場者87名
	11月8日	シアター	北海道文学館出前講座「朗読と音楽のしらべ」 来場者75名 講師:朗読 田村英一さん、チェンバロ演奏 明楽みゆきさん
<b>あおぞら図書館事業</b>	7月26日	町内	読書活動と野外活動を組み合わせる中で「よく読みよく遊ぶ」子どもの育成を目指すもの。 対象 小学1～3年生 参加者20名
<b>こども一日司書体験事業</b>	9月6日	図書プラザ	図書プラザのカウンター業務を中心とする司書体験を通じ、図書館の役割や本を使った調べ方について学ぶ。 対象 小学4～6年生 参加者6名
<b>アニマル号での業務実践</b>	9月11日12日、18日、26日、30日	朝日小学校・ 新冠小学校	こども一日司書体験で学んだことを実践する場として、本年より各小学校に移動図書館車アニマル号が運行した際に貸出や返却業務を実践しました。一日司書体験参加者6名のうち、5名が各学校にて実践。
<b>ブックスタート事業</b>	毎月1回	保健センター	生後4ヶ月の乳幼児健診に合わせて、ボランティアサークル「ぐっ・ぱ」の協力のもと、児童と保護者に対し絵本と読み聞かせのプレゼントを行い、早い段階での絵本とのふれあいを通じて、子どもそのものよりも保護者に対する読書推進を図ります。  参考 4月～3月実績 39名

セカンドブック事業	毎月1回	保健センター	町内の3歳児を対象として、候補絵本から1冊をプレゼントし、ブックスタート以降の家庭での読み聞かせ及び読書習慣の定着を図ります。 参考 4月～3月実績 49名
キレイママルーム事業への協力	年2回 6月9日 12月9日	レ・コード館	ボランティアサークル「ぐっ・ぱ」の協力のもと、保健福祉課主催の母親教室において、図書プラザの紹介及び絵本の読み聞かせを実施。 参加者5名 参加者7名
学校図書室利用促進事業	通年	新冠小学校 朝日小学校 新冠中学校	図書プラザの図書供給を中心に学校図書室を支援するものです。 ・各小中学校へ図書の長期大量貸出を実施 ・図書プラザを経由し学校図書を購入(重複の防止) ・図書室の環境整備(新鮮さ)
移動図書館車アニマル号運行事業	通年	小中学校、 保育所 福祉施設 高齢者及び 乳幼児宅など	図書プラザへの個人での来館が困難な町民に対し、定期的に移動図書館車を運行し、読書する機会を広く提供するもの。 平成26年度運行先 ・町内小中学校 ・にこにこクラブ(児童館) ・認定こども園ド・レ・ミ ・太陽ステーション(太陽簡易郵便局) ・おうの郷 ・こたにがわ学園 ・あいあい荘 ・高齢者宅2件、乳幼児宅2件
森みつ少年少女文芸賞	1月11日  (授与式)	レ・コード館	新冠町縁の女流詩人故・森みつの業績を讃え、小中学生を対象に詩及び作文を募集し、優秀な作品を表彰します。  ・受賞作品数12点(応募総数159点) 受賞者 小学校低学年 詩部門 1名、作文部門 1名 詩部門(審査員特別賞) 1名 小学校中学年 詩部門 1名、作文部門 1名 作文部門(審査員特別賞) 1名 小学校高学年 詩部門 1名、作文部門 1名 中学校 作文部門 1名 中学校 作文部門(審査員特別賞) 3名 授与式は、新冠町功労賞、教育賞、教育奨励賞表彰式に合わせて実施。

10 少年教育事業関係

事業名	開催期日	場所	事業内容等
新冠町少年国内 研修交流事業	12月～2月	沖縄県金武 町他	<p>21世紀を担う少年(小・中学生)を国内の各地に派遣し、その地域の自然・文化に接するとともに、様々な体験学習と交流を通して広い視野をもった郷土を愛する少年の育成を図ります。平成25年度から沖縄県金武町との相互交流がスタートしており当面の間は、沖縄県を派遣先として事業の展開を図ります。</p> <p>事業対象者:町内小学校6年・中学校1年生 定員20名 参加者 新冠小 男子0人 女子4人(※5人) 朝日小 男子2人 女子2人 新冠中 男子8人 女子3人 計19人 ※新冠小女子1名が体調不良のため本研修欠席 ※スタッフとして、過去に参加経験のある高校生1名を参加させています。</p> <p>(スケジュール)事前研修3回(11/29,12/6,12/20) 本研修(1/6～9) 事後研修3回(1/31,2/8,2/14) 事業報告会(2/26)</p>
少年の主張日高 地区大会	7月12日	日高振興局	<p>少年の健全育成及び非行防止に対する道民の契機となることを目的に北海道が主催しており、管内各町中学生1名の派遣要請があります。</p> <p>当町は新冠中学校推薦により1名を派遣</p>
ジュニアリーダーコ ース派遣	11月22～ 24日	足寄少年自 然の家	<p>北海道教育委員会が主催する青少年活動リーダーを養成する事業で、道教委から管内各町中高生2名の派遣要請があります。</p> <p>当町からは新冠中学校推薦2名を派遣予定でしたが、期末テスト期間のため不参加となりました。</p>
町子ども会育成連 絡協議会(補助)	通年		<p>町内の単会子ども会の交流及び指導者育成を図る目的に連絡協議会を組織し事業を実施します。</p> <p>平成26年度 加盟単会数:8子ども会 会員数316名</p>
	8月6日	札幌市	<p>・体験活動を目的としたバスツアー事業の開催 視察場所:札幌市青少年科学館、円山動物園 参加者69名</p>
	12月6日	レ・コード館	<p>・「餅つき・餅まき体験事業」を実施する。日本の伝統的な風習の餅つき餅まきの体験事業を実施 開催場所:レ・コード館 参加者170名</p>
	1月31日	町内	<p>・チャレンジ雪合戦の開催 開催場所:スポーツセンター 参加者33名</p>
	3月8日	札幌市	<p>・道新杯雪合戦大会の参加 開催場所:札幌市 参加予定14名</p>
つうがく合宿事業 (補助)	11月・2月	青年の家	<p>参加する子ども達及び保護者に日常における規則正しい生活習慣を体験し必要性を理解してもらうため日高判官館青年の家を活用し、親</p>

<p>ここにクラブ  (旧新冠町放課後 子ども教室)</p>	<p>月～金曜日  月、火、水、 金曜日  (長期休暇期 間は除く)</p>	<p>新冠小学校 区  朝日小学校 区</p>	<p>元から離れての合宿を行います。事業については実行委員会を組織し実施します。 (冠小・冠小PTA・朝小・朝小PTA・町青少年健全育成委員会・町子ども会育成連絡協議会・町市街地老人クラブ連絡会議) 町内小学生4・5年生を対象 22名参加(定員30名) 実行委員会 第1回目 10月7日開催 第2日目 10月29日開催 第1回目 11月9～13日(4泊5日) 第2回目 2月21～22日(1泊2日) ※21名参加 放課後時間における、子どもたちの安全、安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々を安全管理員やボランティアとして配置し、スポーツや文化活動等の様々な体験活動や地域住民等との交流活動等の取り組みを実施します。 事業コーディネーター2名配置 7/29 夏の特別事業「ペットボトルロケットづくり」参加者37名 8/12 夏の特別事業「ペットボトルロケットづくり」参加者20名 8/29～10/17 特別事業「日本舞踊教室」参加者11名 1/16 冬の特別事業「カルタ教室」参加者18名</p>
<p>児童館運営事業</p>	<p>月～土曜日</p>	<p>児童館(町民 センター内)</p>	<p>地域における児童の健全な育成と、指導を図り、児童福祉の増進に寄与するために児童館の適切、効率的な運営を行います。 児童館特別事業(年4回程度)工作教室、大道芸鑑賞他 児童厚生員2名配置 開設時間9:00～17:00 祝日は休み 7/31 夏の特別事業「サマーフェスティバル」参加者75名 9/7 特別事業「わくわくさんと遊ぼう!」参加者158名 10/19 特別事業「第4回秋のおたのしみひろば2014」参加者230名 3/26 春の特別事業「大道芸人ショー」参加者61名</p>
<p>子ども体験塾 旧:自然体験教室</p>	<p>年4回程度</p>	<p>判官館ほか</p>	<p>季節にちなんだ自然体験事業等を実施し、自然体験を通じて生きる力や社会性を育みます。 春:田植え体験(6月1日 参加者33名) 夏:カヌー体験(8/30中止、9/20 参加者4名)・ツリークライミング(9/13 参加者18名) 秋:稲刈り体験(9/28 参加者25名) 冬:凧作り・凧揚げ体験(2/7 参加者16名)、雪遊び体験(2/15 参加者13名) ※地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業(補助事業)と連動し事業を実施します。</p>

## 11 少年体育事業関係

事業名	開催期日	場 所	事業内容等
ジュニア水泳教室	7月4～25日	町民プール	小学1年生を対象とした初歩の水泳教室。全10回 新冠小・朝日小1年生 参加者40名 延べ参加者330名
ミニサッカー教室	3月3～12日	スポーツセンター	就学時前児童を対象としたミニサッカー教室 3/3,5,10,12(全4回) 参加延べ165名
町スポーツ少年団(補助)	通 年		加盟団数:9団体
NI・SPO(にいかっ ぷスポーツクラブ) 補助	通 年		各少年団の指導者等を講師とし、子ども達を対象にスポーツ教室を開催 ・野球、サッカー、バドミントン、武道等
新冠町民スポーツ大会 ・町民水泳記録会	9月6日	町民プール	児童・生徒の体力とスポーツに対する興味・関心の向上を図ることを目的に、各種スポーツ記録会等を実施致します。 スイミングフェスティバル 参加者15名

## 12 成人・高齢者事業関係

事業名	開催期日	場 所	事業内容等
町体育協会(補助)	通年		加盟団体数:14団体 ・体育の日記念事業(10月12日 28チーム 延参加人数196名) (ソフトボール、パークゴルフ、ミニバレー) 他
からだリセット講座	年2回	保健センター ほか	町民の健康増進と運動(スポーツ)の推進を図るため、保健福祉課と連携して簡単な運動プログラムを指導します。  第1回目 7/14～9/22(運動指導・講話 8/20、9/22) 参加者19名 第2回目 11/20～2/25(運動指導・講話 11/20、1/16、2/25) 参加者13名

## 13 社会教育施設整備事業関係

事業名	開催期日	場 所	事業内容等
レ・コード館LED化 改修工事	7月3日～ 8月29日	図書プラザ	図書プラザの照明のLED化

レ・コード館空調機 コイル交換工事	7月29日～ 10月31 日	レ・コード館	交流広場系統エアーハンドルユニット交換一式
郷土資料館トイレ 改修工事	5月30日～ 7月11日	郷土資料館	洋式便器3カ所、LED照明、電気ヒータ設置ほか
スポーツセンター 受電設備改修工 事	7月3日～ 8月29日	スポーツ センター	受電設備のキュービクル化
節婦体育館外部 改修工事	7月4日～ 10月31日	節婦体育館	旧節婦小体育館を改修し、平成25年12月1日に節婦体育館が開設 されました。昨年度は内部の改修を実施し、本年度は外部改修を実施 しています。 屋根、外壁の改修一式 スロープ新設ほか

8 認定こども園ド・レ・ミ事業の状況

認定こども園ド・レ・ミ事業関係

事業名	開催期日	場所	事業内容等
			年間実施行事 ・季節に応じた年間行事及び体験学習等を実施することにより、健康な心と体を育て、子どもたちの育ちをより一層充実したものにしていくことを目的に実施します。
認定こども園ド・レ・ミ入園式	4月3日	認定こども園ド・レ・ミ	入園児童数 126名
鮭稚魚放流体験	4月22日	万世ふ化場	対象児童:年長組
判官館桜見学	5月12日	判官館	対象児童:3~5歳児
	5月14日		対象児童:0~2歳児
運動会	7月6日	町民グラウンド	対象児童:全園児
七夕祭り	7月8日	認定こども園ド・レ・ミ	対象児童:全園児
お泊まり会	8月22日~ 8月23日	認定こども園ド・レ・ミ	対象児童:年長組
盆踊り花火大会	8月22日	認定こども園ド・レ・ミ	対象児童:全園児
乗馬体験	10月1日	レコードパーク	対象児童:3~5歳児
マラソン大会	10月8日	レコードパーク	対象児童:年長組・年中組
おゆうぎ会	11月15日	町民センター	対象児童:3~5歳児
高齢者施設訪問	11月19日		対象児童:3~5歳児 実施施設:おうるの郷(年長組) 恵寿荘(年中組) あいあい荘・ゆーあい天馬(年少組)
餅つきの会	12月11日	認定こども園ド・レ・ミ	対象児童:全園児
クリスマス会	12月22日	認定こども園ド・レ・ミ	対象児童:全園児
かるた大会	1月28日	認定こども園ド・レ・ミ	対象児童:3~5歳児
節分豆まきの会	2月3日	認定こども園ド・レ・ミ	対象児童:全園児
ミニミニ発表会	2月18日	認定こども園ド・レ・ミ	対象児童:0~2歳児

ひなまつりの会	3月3日	認定こども園ド・レ・ミ	対象児童:全園児
認定こども園ド・レ・ミ修了式 園内研修	3月24日	認定こども園ド・レ・ミ	修了児童:46名  ・専門講師を招き研修を行うことにより、職員の資質と指導力の向上を目的に実施します。
	5月25日	認定こども園ド・レ・ミ	「リミック研修」 参加者:27名 講師:カワイ音楽教室委任講師 武井 由起子 先生
	10月19日	認定こども園ド・レ・ミ	「気になる子の幼児期の関わりについて」 参加者:39名 講師:北海道教育大学釧路校 二宮 信一 先生
避難訓練	毎月1回		<p>・様々な災害を想定し避難訓練を実施することにより、災害から園児の命を第一に考えた避難を徹底することを目的に実施します。</p> <p>4月28日 火災避難訓練                      5月27日 地震・津波避難訓練 6月 9日 火災避難訓練(消防署要請) 7月15日 竜巻避難訓練                      8月28日 午睡時地震避難訓練 9月24日 火災避難訓練 10月14日 火災避難訓練(消防署要請) 11月20日 地震避難訓練                      12月12日 火災避難訓練 1月26日 火災(煙)避難訓練                      2月5日 大津波避難訓練 3月 4日 地震・火災避難訓練</p>

## 8 管理課所管の施策・事業の評価調書

## 学校教育

新冠町教育推進の重点		A 達成できた	B 概ね達成できた	C 達成できていない	内 部 評 価	外 部 評 価	特記事項
施 策	施策に対する計画内容	評価内容					
学 ぶ 意 欲 と 確 かな 学 力 の 育 成	「学校経営の質の高さ」～全国学力学習状況調査結果の分析と一層の充実	平成26年度全国学力・学習状況調査結果に基づく学習改善プランの見直しと充実を図り、学習規律やノート指導の徹底や家庭学習と連続する授業の在り方の改善を図るとともに、各学校で行われている放課後の補充指導や夏・冬休みの長期休業中の学力サポートの取り組みに対する支援を積極的に行う。	全国学力学習状況調査結果の分析に基づき教職員間で共通理解を図り、改善に向けた取組を補充学習等で明確にすることができた。また、調査結果について新たに公表資料を作成し、全家庭へ配付した。	放課後指導の充実や長期休業中の指導の充実に努めると共に、個々の学力の差に応じた指導の充実を一層図る。また、家庭学習の質・量の両面からの充実を図る。	B	B	
	評価と指導の一体化を図る個に応じた指導	児童生徒が学習内容を確実に身に付けるよう、実態に応じ、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、学習内容の習熟度に応じた指導、課題学習等、指導方法や指導体制の工夫改善を図る目的により推進する。	現在各学校に1名の加配教員を指導方法工夫改善による希望申請により配置している、それに加え本年度より町独自に新たに1名学習支援員として新冠小学校へ配置した。	加配については、指導工夫改善計画を提出し配置等については、確実ではない状況のため、本事業の定着化と、町独自での支援員を配置するとともに、授業改善を図ることが必要である。	B	B	
	学習意欲を高める学習指導法	学習指導要領に基づく適切な教育課程の編成・実施・評価が求められており、学ぶ意欲や重要性の認識と学習内容の定着と乖離に対する指導・方策の工夫により学力の向上を図る。	学習規律を設定し、年間を通し学校が一体となって指導する体制を確立した。また、校内研修と連動させて、学年別目標などを設定しノート指導や板書について取組むとともに、漢字チャレンジ、計算チャレンジを設定し、年間を通じた取組を行った。また、本年度より、英語検定、漢字検定の助成事業を実施し学習意欲を高める取組を実施した。	次期学習指導要領などを見据えた授業改善のイメージを校内研修などと連動させ浸透させるとともに、指導成果を定期的に確認できるシステムを整備し、指導と評価の一体化を図る。	B	B	
	I C T、教育機器の活用	児童生徒の学習に対する関心・意欲を高め、授業の効率化を目指して、新たにタブレット端末の活用を試行的に導入し、指導方法や授業スタイルの転換を目指し教育の質の向上を図る。	電子黒板や実物投影機については、学習での定着が図られ、日常的に使用している。また、I C T教育推進委員会を立ち上げ、本年度より導入したタブレット型端末の使用法、評価、課題を見出し、今後の推進について共通理解が図られた。	電子黒板、実物投影機については、全ての学校で授業での定着が図られており、タブレット型端末機を活用した授業ができるよう配置済みの新冠小学校と更に朝日小学校にも試行的に配置し、環境整備等を含めた計画的な整備が必要である。	A	A	
	家庭学習の定着	規則正しい生活習慣を身に付けるとともに、家庭学習の定着を進めるため、各学校から「家庭学習の手引き」を保護者へ配付し、家庭との明確な連携や分担により児童生徒の自主的な学習の支援を図る。	「学年×10分」の家庭学習の定着率の向上を図る目的により、「家庭学習の手引き」の見直しや、家庭への協力依頼事項を明確に整理し、積極的に発信し、漢字・計算を基本に宿題を出した。	各学校において「家庭学習の手引き」を毎年、配付するとともに、年数回のアンケート調査を実施し、実態調査をしているが、定着率は70%程度となっている。しかし指導の工夫により、家庭学習内容が工夫されており粘り強い取組を今後も実施していく必要がある。	B	B	
豊かな心と健やかな 身体の育成	自律心や豊かな心と感性を育む道徳的実践力の高揚を図ることを目的に、日常生活や学習基盤となる道徳性に指導を重視した指導計画の見直し、資料の有効活用した心に響く「道徳の時間」の授業実践、児童、生徒が主体的に学習し道徳的実践力を育むことができるような「心のノート」などの有効活用を図る。	自律心や豊かな心を培う道徳的実践力の高揚を図るとともに、自律の心を育て、正しい人間関係を学び、指導の充実を図ることを目的に、児童生徒指導体制の確立と指導の共通理解、共通行動、情報モラルの徹底、保護者との連携強化を図るとともに、道徳の授業公開、校内研修、教研協道徳部会と管内道徳教育研究会を活用し、指導内容の充実を図った。	道徳の校内研修や教研協の道徳部会の公開授業に合わせ指導助言を行い、良い評価を受ける授業公開をすることができた、今後も道徳の授業交流・公開への意識づけを強化するとともに、道徳の授業に関する研修のコマを拡大する。	B	B		

施策	施策に対する計画内容	評価内容	今後の課題と必要な取組	内 部 評 価	外 部 評 価	特記事項	
豊かな心と健やかな身体の育成	健康教育の充実	自らのからだの成長や健康に興味関心を持ち、心身ともに健やかに成長するために健康的な生活を実践できる子どもの育成を図り、保健（たばこ、アルコール、薬物、性の指導など）に関する指導や相談の充実、食に関する指導を行う。	児童生徒に係る健診内容は内科、歯科に加え、耳鼻科、眼科、心臓健診を実施するとともに、学校医を委嘱している。また、本年度より小学校1、2年生を対象にフッ化物洗口を実施した。また、管理栄養士により、町内の農産物を食材とした「ふるさと給食」を実施し、食や命の大切さについて指導した。	健診については、町独自により耳鼻科、眼科検診を行い児童、生徒の健康状態について把握に努めている。また、フッ化物洗口については、こども園ド・レ・ミに引続き継続した実施として、低学年を対象に実施することができた。今後、中学年、高学年と計画的な実施に取り組む。「ふるさと給食」の取組については生産者を学校へ招き、生産する苦労等について実際に話す機会を設けることにより、食をおした安全安心、命の大切さについて学ぶ貴重な時間となっている。	B	B	
	防災安全教育	自分の「いのち」を守るだけでなく、他人の「いのち」の大切さを考え、人間の生命の尊さを理解させることを基本にして、学校内外の生徒の生命保持について安全教育に関する必要な対策を実施する。	交通安全指導、安全点検、災害防止として年間計画的に点検を行っている。また、避難訓練においては、認定こども園ド・レ・ミと連携を図り実施し充実した内容で実施している。	各学校においては、年間のそれぞれの安全計画を立て実践するとともに、危機管理マニュアルを作成しそれに基づく行動を取っており、職員、児童、生徒が繰り返し実践を行うことによりそれぞれが理解し対応できるようになっている。今後、地域との連携を踏まえた内容の実施について検討する。	A	A	
	体力・運動能力の向上の取組	都市化、近代化の影響による児童生徒の体力・運動能力の低下については喫緊の課題となっている。そのため、全国体力・運動能力運動習慣等調査により詳細な課題を見つけ、体力向上に向けた取り組みを進める。	体力向上に向け、本年度より朝日小学校に体育専科教諭を配置し指導に取り組むとともに、体力向上実践モデル地域として、体力向上推進委員会を立ち上げ、学校、社会教育、民間体育団体との連携を持ち、体力向上の取組を強化した。	体育専科教諭の配置により、各学校での体育授業の内容が充実したとともに、休み時間を活用した体力向上の取り組みが実践された。また、体力向上推進委員会により、学校、社会教育、民間の連携が図られた、次年度からは認定こども園も組織に加わり、幼小中の連携による事業に取り組む。	B	B	
	環境、施設を活用した環境教育	身近な環境やその保護への意識を高めるために日常生活と教科等の学習内容を関連付けた指導を工夫する。	地域環境においては、身近な自然環境について課題を設定し、地域の歴史・産業・文化について地域の人材を有効に活用した特色のある授業を実施することができた。	総合的な学習の年間指導計画の交流はなされたが、指導計画の見直しに向けた根本論議の機会を確保するとともに、具体的な見直しについて検討を求める。	B	B	
	キャリア教育	自己実現に向け、将来を意識し、生き生きと学び生活する意欲や態度を育てるために、発達段階に即した夢や希望を意識した指導を多面的に取り入れる。	町内及び隣接町を中心とした職場体験を行い、労働の大変さ、見識を広めた。また、報告会の実施により、学習のまとめ、お礼文書を通して、今後の進路選択、将来の生き方について真剣に考える機会となった。	総合的な学習の時間のねらいに即した形で指導が充実するよう指導助言した結果、生徒の報告会等の内容面で成果が見られた。また、中学校においては、1年生には職業講話、2年生は職場訪問、3年生は職場体験活動を実施し、定着化が図れているため今後も計画的に実施する。	B	B	
教師の指導力と信頼される学校づくり	学校評議員制度の運営	地域に開かれた特色ある学校づくりを進めるために、校長が地域住民の意向を一層把握しながら、地域の声を学校経営・運営に反映することを目的に学校評議員を設置し、学校行事等の参加を促し適切な評価を得る。	年間2回から3回程度の評議員会を開催し、学校での行事結果や現状について、協議し適切な意見を頂戴し、今後の学校経営の参考としている。	各種学校行事等に学校評議員の積極的な来校の呼びかけと会議の持ち方に工夫しながら今後も、有効的な活用を図る。	B	B	
	教師の指導力の向上	学校教育の直接の担い手である教員の活動は、児童生徒の発達に係るものであり、教育者としての使命感、発達についての深い理解、教育的愛情、教育内容についての専門的知識、豊かな教養などを基盤とした実践的指導力が必要であり、現職教育を通じて、探究心を持ち学び続ける存在であることが不可欠である。そのため校内研修への参加促進するための環境を整え、その成果をフィードバックするように努める。	指導面の重点課題として学年相応の基礎学力を保障できる学習指導の徹底とし、①日常の授業の見直しと改善による授業のレベルアップ②よりよい学習習慣の確認と一体的な指導の実施③基礎学力の定着・向上に焦点化させた取組の具体化の3点を解決に向けた視点として、個人解決、集団解決、補充・深化、まとめとし授業実践に取組を進めた。また、教育委員会が主催し、現職教員研修や生徒指導、専門技術指導等の研修を計画的に実施した。	指導過程と基本課程の共有と実践化を図り、板書やノート指導の充実、授業態度の育成と定着を教職員間で共有し、公開授業を実施しながら授業後の話し合いにより指導力の向上を図った。また、教育委員会主催による各種研修会の実施については経験豊富な職員に依頼し講師として初任者向け研修を実施したことは、より具体的でまた、日頃の指導の在り方についても、指針となる意見が出され有効だったため今後も継続し、実施する必要がある。	B	B	

施策	施策に対する計画内容	評価内容	今後の課題と必要な取組	内 部 評 価	外 部 評 価	特記事項
学校間連携（幼小中連携）の取組	子どもの学びの障害やストレスの軽減に向け、町内の他校やこども園との情報及び教育活動の連携に努める。	各小学校の取組として、こども園年長を対象とした学校行事に招待するとともに、中学校においてはキャリア教育として、こども園での保育体験実習を行っている。	こども園との連携については、年々定着し、また、避難訓練の合同実施等、充実している。今後、小、中間の連携事業としての内容を検討する必要がある。	A	B	
学校経営の充実	開かれた学校の取組	各学校とも、地域との連携を図り地域人材の活用や、運動会、学習発表会等の開放や、地域公開参観日等を実施している。また、新冠小学校では地域の高齢者が通学時の児童安全管理として、路上で通学指導にあたり連携を強化している。	地域公開参観日の積極的な呼びかけと、より有効な地域人材を活用した授業の実施を今後も継続的に取組む必要がある。また双方向での地域での学校の活用については、今後も検討する必要がある。	A	A	
	いじめ・不登校生徒への指導	各学校、いじめ防止基本方針を策定し、対応について整備している。また、アンケートの実施により実態調査、保護者との情報共有を図った。また、不登校については、担任の家庭訪問、個人面談を行うとともに、児童相談所やスクールカウンセラーを活用した。	年2回のアンケートを実施し、実態の把握に努めるとともに、学校内において、いじめについての学習会の内容の充実と保護者への適切な情報提供について今後も継続し、実施する必要がある。	A	A	
	特別支援教育指導の充実	児童の実態把握を適切に捉え、児童の困り感を低減させるための実効性、専門性のある指導を工夫するとともに、家庭や関係機関との連携を図り、校内支援体制の強化に努める。	特別支援学級が年々拡大する傾向にあり、普通学級においても集団生活に適応しにくい児童が見られるが、担任及び支援員の計画的な配置により、より教育効果を高める体制が定着化されつつある。	A	A	
	社会教育との連携	各種芸術鑑賞事業、放課後子ども教室や通学合宿、図書プラザとの連携など学社融合の積極的な活用を図る。	レ・コード館との連携により、昭和音楽大学での専門的なアウトリーチコンサートの実施や、舞台芸術公演としての劇団公演、図書館車「アニマル号」の定期的配送、放課後こども教室開催による連携等、積極的な連携実施が図られている。	昭和音楽大学による中学校での吹奏楽クリニックの継続的な実施により昨年度、全道コンクールに出場する大きな成果を上げた。今後も社会教育との連携を密にとり、より有効的で効果の高い事業実施を図る必要がある。	A	A

認定こども園ド・レ・ミ

	施策	施策に対する計画内容	評価内容	今後の課題と必要な取組	内 部 評 価	外 部 評 価	特記事項
地域に開かれた園経営の充実	保護者と共に育む教育・保育活動の推進	園運営・教育・保育に関するアンケート調査の実施や保護者との懇談会の実施など保護者の声を園経営に生かす。また、参観日、フリー参観日を計画的に実施する。	本年度新たに園経営・教育・保育に関するアンケートの内容を見直し実施し、アンケート結果を園全世帯に周知した。また、行事の改善を目指し保護者会役員会において運動会、おゆうぎ会について検討した。 参観日、フリー参観をとおり、園生活における姿を保護者、地域の方々に見ていただき、園児の成長とド・レ・ミでの教育保育の進めについて理解を得た。	アンケート内容を見直し実施したが、参加率はあまり向上していない状況にあり、実施手段の見直しを検討するとともに、継続的に実施する。また、参観日、フリー参観については、定着が図られ、園児の様子から新たな育ちを実感する保護者も多く、充実した内容で実施できている。	A	B	
	小中学校、地域等との連携における相互の活動の質を高める	幼小中の連携を強化するとともに、平取養護学校、発達支援センターとの連携を図る。また、地域においても、老人施設、各サークル団体との交流による異世代交流を進める。	小学校との連携においては、合同避難訓練の実施各種事業の連携により年々連携強化に繋がる事業を実践し、また、中学校においては、保育体験事業をとおり、交流が図られている。また、施設訪問により、核家族化による不足する異世代交流が図られ、定期的な読み聞かせサークルによる活動等、地域連携が図られた。養護学校との連携については、専門職員の派遣事業を3回行い、発達支援センターにおいては定期的な園訪問を受けている。	現在の連携を維持するとともに、園児、児童、生徒間からの交流から、各学校の教諭、こども園保育教諭との連携をこれからも発展させる必要がある。また、新たな幼少連携交流事業の見直しを検討する。	B	A	
	自己評価や外部評価を生かすための相談・懇談活動の充実	全職員による反省と改善に向けた評価活動の実施（PDCA）を進めるとともに、相談・懇談活動の充実を図る。	教育・保育の質的向上を目指し年2回評価活動を実施した。	今後も定期的な職員会議を充実させるとともに、改善に向けた具体的な取り組みの共有を図る。	B	B	
協働体制と専門的な指導	目的意識をもった人間関係の基礎・社会生活の基礎を育む教育・保育の実施	基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、運動機能の向上と安全教育の推進を図り、体験活動をとおり命の大切さを育む。	体力づくりでは、毎朝のラジオ体操を実施し、また、朝のランニング、縄跳びの継続した取組を成長に合わせ実施した。安全教育では、防災計画に基づく実践を定期的に行うとともに、不審者防犯訓練にも取り組んだ。また、体験活動では、乗馬体験、農業体験、漁業体験等、地域の教育力を活かした事業展開を図った。	就学前に基礎体力をつけることを心がけ、ラジオ体操、朝のランニング・運動遊び・リズムあそび等の習慣化を図り体力づくりと共に持久力を養い、何事にも挑戦し最後までやり遂げる精神力をつける。様々な行事を目的意識を持ち事前事後研修を行い『体験あつて学習なし』とならないように計画・実施する。	A	A	
	計画的な視察研修・外部講師の招聘による研修の実施による指導力向上	各種研修会への積極的受講及び音楽、体育活動の導入と推進を図る。また、クラス経営の充実（個人目標・5領域目標の設定）	年間研修計画のもと各種研修会への参加・視察研修を実施するとともに、職員会議において伝達研修を実施した。（幼稚園新採用教員研修・言語障害関係職員研修・主任保育士養成研修・外部講師を招いての園内研修等）	平成27年度から子ども子育て支援法が施行されることにより制度改正された点について研修を重ね職員が共通理解したもとの教育・保育に取り組む。また、開園5周年と言う節目の年でもあり反省評価を行いより、ステップアップした園・クラス経営（運営）をしなければならない。	A	A	
	教育課程の編成と実態との調和及び保育環境の整備	教育・保育課程の編成（園の教育・保育の年間計画作成）及び教育・保育の環境整備の取り組み	年間計画、年齢別指導の重点に基づき月案週案を作成し実施した。突発的な天候等により計画通りにいかない事もあったが後日実施するように心がけ実施した。	計画が単に形だけにとどまらないように努めると共に、各クラスで情報共有しながらとり進め格差が生じないように実施しなければならない。	B	B	
子育て支援活動の充実	子育て支援センターの充実 子育てサークルの育成 子育て講演会の実施	子育て支援センターは、育児不安を抱える父母の相談に応じ、専門職員が必要なアドバイスを行うとともに、子育てサークルの育成を通じて家庭同士のネットワークづくりを支援する等地域全体で子育て支援をバックアップする中核施設の役割を果たす。	外部講師による講演（食育・虐待・ひきこもり親を防止する）子育てサークル（親同志の交流・仲間づくりを目的にする事業→セラビーや制作・発育・トイレトレーニング等） 乳幼児の検診に向き子育て支援センターへの利用を促す活動をした。	乳幼児健診での広報活動により入園前の乳幼児世帯の多くの親子が支援センターを利用するようになったが、より多くの親子利用を望むこと、並びに周産期時の母親の不安や出産後の早期相談できる場所としての利用を推進すべく取り組みが必要と考え、妊娠期の母親へのアプローチを試験的に実施する事で子育て支援センターの底上げを図る。	B	B	
	園だより・保健だよりの発行	クラス便り・園便り（月の教育・保育概要の提示）・保健便り等の定期的発信（月1回、保健便り随時発行）	園児の成長の様子をそれぞれの便りにより保護者へ周知すると共に、家庭生活において子どもに必要な知識の共有を図った。また保健だよりでは専門的な知識について、分かりやすく解説した。	園便り・保健便りの発行にあたり見てみたい読んでみたいと言う気持ちになるよう工夫を凝らし内容についてもマンネリ化しないよう常に新しいものを取り入れていく。	A	A	
	相談活動・懇談活動の充実	子育て相談活動の充実 子育て情報の発信 関係機関との連携強化	26年度の相談件数は、基本的な生活習慣22件 発達障害28件 医学的問題5件 育児方法24件 生活環境15件 その他10件 合計104件	子育て相談内容を踏まえ、事業内容に反映させ情報提供することと、近年多くみられる発達についての相談に関して、関係機関（保健師・発達支援センター）と連携していきたい。	A	A	

## 8 社会教育課所管の施策・事業の評価調査

	施策	施策に対する計画内容	評価内容	今後の課題と必要な取組	内 部 評 価	外 部 評 価	特記事項
	音楽推進計画の充実 (音楽体験交流・学社融合音楽事業)	当町の「レ・コード&音楽によるまちづくり」は、音楽をとおして文化の向上を図るものであり、歴史ある音楽文化をより良い環境で鑑賞できる整備と、実際に楽器に触れ、音楽を奏でる体験できる事業を推進する。 ①吹奏楽指導 ②アウトリーチコンサート ③声楽コンサート	①吹奏楽指導では、昭和音楽大学より講師を招聘し、中学校及び近隣高校への直接指導を行い、コンクールでの選曲、構成や、指導する先生との相談にも応じている。高い技術指導を受けられる環境により、技術向上が図られているとともに、レ・コード館と学校の連携、融合に繋がっており、事業効果が高い。 ②アウトリーチコンサートでは、声楽が行われたが、馴染みのある曲で構成されたことや、一緒に歌う環境を作るなど、一体感が感じられ、有意義な事業となった。 ③平成26年度よりパートナーシップコンサートを隔年実施としており、昭和音楽大学コンサートとして実施したが、実際は町内2団体の合唱サークルも出演してコンサートを盛り上げている。昭和音大の出演者も学生主体ではなく出身者主体であったことから、技術的にも高く来場者からの評価は大変高く感じた。	昭和音楽大学との連携により、質の高い音楽教育事業を推進することができており、今後も連携、協力を図ることにより、音楽による町づくりを推進することができる効果の高い連携事業である。 今後も事業推進を図るとともに他音楽団体の連携も図ることにより、より広範囲な事業推進を実施する必要がある。 なお、隔年実施となったパートナーシップコンサートであるが昭和音楽大学関係者の招聘は毎回行うため、隔年実施について検証し、規模を変更してのパートナーシップコンサートの実施などアプローチを変えた開催の検討する。  【今後の課題と必要な取組】 ○他音楽団体と連携し広範囲な事業推進 ○パートナーシップの隔年実施について検証	A	A	
レ・コード館での社会教育	レ・コード館事業の充実	新冠町のまちづくりの中核となるレ・コード館は、レ・コード&音楽によるまちづくりを推進し、社会教育活動等をおし町民の生活文化の向上と社会福祉及びコミュニティーの増進を図り、うるおいある新冠を実現する目的で、広く音楽文化や舞台芸能を提供し、各種イベントを実施する。  ①レ・コード館誕生記念日 ②音の日レコードコンサート ③出張レコードコンサート	①レ・コード館誕生記念日事業は、レ・コード館が開館した6月8日の直近の土曜日にレ・コード館隣接の道の駅、観光協会との連携を図り企画を行うとともに、見学コースの無料開放、ロビーコンサートを実施し、来館者約350名と好評に終了した。 ②音の日レコードコンサートは、ゆーあい天馬、恵寿荘、おうるの郷、あいあい荘において、高齢者向けの流行歌・歌謡曲のレコードを持参し、ミニレコードコンサートを実施した。なつかしいメロディーに大変好評をいただいています。 ③出張レコードコンサートは、札幌開拓の村での実施や、ヨサコイや雪まつりの期間中に札幌市資料館において実施。また、釧路芸術館においても実施しており、来館者も多くレ・コード館のPRとともに町のPRも行っております。好評のため次年度についても実施要請がある。	レ・コード館の施設や機能、寄贈レコードを有効活用した事業で、レコード文化の振興と、レ・コード館事業の推進を図ることができるものと考えられ、今後も継続した事業実施が必要と考えられる。  【今後の課題と必要な取組】 ○来館数向上を念頭に引き続き実施する。	A	A	
	生涯学習事業の充実	町民一人ひとりが意欲を持って自発的に学習する機会や環境が必要であり、生涯学習講座をおし多様化する学習要求に即する事業実施に努めている。  ①プラスワンセミナー ②家庭教育学級 ③生涯学習講座	①「ケータイ・インターネットのトラブルから子ども達を守るために」と題してPTAと共催したほか、大学や進学に興味を持てる場として「北大生に聞く勉強と大学生活のあれこれ」と題しての講演会を行った。「北大生～」については講演前に実験教室も行うなど、幅広い対象者に対して事業提供ができていた。 ②家庭教育学級では、PTAと教育委員会の共催により、大きな社会現象となっているインターネットのトラブルに関する講演会を実施し、好評に終了した。また連携して事業を実施したことにより、事業効果の広がりを感じられた。 ③絵画教室、陶芸教室、ジェルネイル教室と異なる3つの事業を行い、広い世代に対して事業を提供できている。また、サークル活動が衰退してきている現状からも、既存サークルを活用した教室は新規会員を確保する手段としては有効と感じた。	プラスワンセミナー、家庭教育学級の開設については、他団体との連携協力をさらに図りながら、年間のテーマを決めて講師を選定。 生涯学習講座においては、趣味的な講座を実施するとともに、既存サークルを継続的に活用して講座を実施し、サークルの活発な活動にも繋げる  【今後の課題と必要な取組】 ○プラスワン～テーマによる講師選定 ○生涯学習～サークルの活発な活動に繋げる事業を継続実施	A	A	

	施策	施策に対する計画内容	評価内容	今後の課題と必要な取組	内 部 評 価	外 部 評 価	特記事項
社会体育	新冠町スポーツ振興計画1年目	従来からの振興計画の基本理念である『「生涯にわたってスポーツに親しむ」にいかっぶの実現』を踏襲し、基本目標・基本施策を掲げ、生涯スポーツ社会の実現を目指し、新たな5カ年間の計画を策定した。	社会体育関係団体との連携を図り、各ライフステージにおける各種スポーツ教室を行い、充実した事業を実施している。また、子どもの体力向上については体力向上先導的総合実践事業における体力向上推進委員会を設置し、小中学校職員と連携して事業展開を実施することができた。	多用化する町民ニーズに対応するために、人材確保及び計画的なスポーツ環境の整備と充実を図る必要がある。 また、幼小中などの関係機関との連携を深め、総合的に子どもの体力向上について検討していく。	A	A	
	少年期のスポーツ体験の充実	生涯にわたり豊かなスポーツライフを送るためには、子どもの時期からスポーツに親しむことが大切である。又、スポーツを通し、規律や礼儀を学び、集団的な活動を通し、協調性や自律心を養い、社会性を培う場として体験型のスポーツ教室の提供を行う。  ①ジュニア水泳教室 ②ミニサッカー教室 ③各種体験教室（総合型スポーツクラブ協力）	①小学生1年生を対象にした初歩の水泳技術習得教室。水泳技術を指導するとともに、水の怖さや命の大切さ、団体行動や規律についても指導し、1年生約9割が参加するなど教育効果の高い事業となっている。  ②ミニサッカー教室は、認定こども園ド・レ・ミ、年長組に対し実施。ボールに慣れることから始め、サッカーの技術向上、ボール運動の楽しさを味わわせることができる。また、次年度小学校に入る心構え等を教室をとおり指導している。  ③総合型スポーツクラブと協力により、各スポーツ少年団の体験スポーツ教室を実施。あらゆるスポーツ体験と興味のあるスポーツについては少年団に入ることを促し、少子化によるスポーツ少年団活動の停滞に歯止めがかかる効果を上げている。	スポーツを通し、きまりや規律を身に付けさせることを目的に実施しており、それぞれの新しい環境の中で、成長を促す良いきっかけとなっており継続開催する必要がある。 しかし、一般成人や親子を対象としたスポーツ教室の開催が少ないこと、また、一般成人のスポーツ実施率が低いことから、今後、一般成人向け及び親子向けのスポーツ教室開催について検討していく。  【今後の課題と必要な取組】 ○体験スポーツ教室の精選	A	A	
	関係団体の支援	新冠町体育協会は、創設の趣旨である構成団体の育成強化と体育の振興を図ることを目的に活動し、当町の社会体育の振興に大きく寄与している。 また競技スポーツへの取り組みが地域スポーツの活性化やスポーツ活動の参加向上に繋がっている。  馬産地である当町において、乗馬を通してより身近にいる馬を体験するとともに、乗馬スポーツを通し乗馬文化を学び、自然と動物を愛する心を培う。  海洋性スポーツを通して、青少年の健全育成を図ることを目的に活動している。	(新冠町体育協会) 加盟団体数 14団体 正会員 228名  (スポーツ少年団) 加盟団体数 9団体 少年会員 165名  (にいかっぶスポーツクラブ) 会員数 249名 (乗馬連盟) 団体会員2団体 個人会員8名  (B&G新冠町海洋クラブ) 少年会員9名 成人会員19名	競技によっては停滞している様子が見られるものの、スポーツ少年団団員の中から国民体育大会への出場及び優勝、B&G海洋クラブ員の国民体育大会出場など、輝かしい成績を残している。また、にいかっぶスポーツクラブの会員増加など、生涯スポーツにつながる良い傾向も見られる。今後も、地域が連携する生涯スポーツ社会の実現が図られるよう継続的な支援が必要である。  【今後の課題と必要な取組】 ○継続的な支援	A	A	
	青年の家の利活用	青年の家は、利用団体が共同生活を通じて、自らの視野を広げ、豊かな感性を育て、心身ともに健全で生涯にわたり学習する意欲を培うことを目的にしている。	町内外の部活動による合宿、学校における宿泊研修等を主に利用されている。 利用者数は減少しているが、全道的にも数少ない青少年研修施設であることから根強いニーズがある。	施設の老朽化に伴い、計画的な改修が必要である。  【今後の課題と必要な取組】 ○整備（修繕）計画の策定 財政事情もあり大規模な改修は難しいが、小修繕を適時実施し、利用に差し支えない状態を維持する。	A	A	

	施策	施策に対する計画内容	評価内容	今後の課題と必要な取組	内 部 評 価	外 部 評 価	特記事項
	図書館機能の拡充	生涯学習社会において、図書館機能はもともと個人学習を支援、援助する機能を持ち合わせている場であり、何かを理解するための手がかりとして求めている情報を提供することにより、学習意欲を満足させ、またより学習意欲を向上させる効果を持っている。しかしながら、多種多様の要求に対しより良いサービスを提供するためには、質的、量的機能を計画的に充実させ、全ての年代の要望に応えるよう、幅広い種類の図書資料を購入する必要がある。また、より良い読書環境の提供のため、施設の改善と図書館サービスの充実に努めるとともに、町民が憩う居場所としての役割もあることから、それぞれの利用者が快適に過ごせるよう、双方に配慮しながら運営していく必要がある。	①図書購入費については、限られた予算の中で、幼児から高齢者に至る、町民ニーズに即応した図書資料の収集を行っている。特に、常時リクエストを受け付け多様化するニーズに対応している。  ②小・中学校、認定こども園ドレミ園、おうるの郷、こたがわ学園、児童館、あいあい荘、太陽郵便局等、各施設を巡回して図書利用サービスを行っている。高齢などの理由で図書プラザに来ることが難しい個人宅や山間部の施設を巡回することで多年代の読書推進を図ることができている。	社会の変化に合わせ継続した図書資料の購入（更新）が必要である。  移動図書館車のアニマル号は、車両購入から15年以上を経過し老朽化しているため、更新を検討する必要がある。  【今後の課題と必要な取組】 ○資料の更新と購入 ○アニマル号更新計画 ○巡回場所の選定・PRの充実	A	A	
図書プラザ	図書プラザ事業の充実	図書及び読書に関連する各種事業を開催することにより、町民の図書に対する興味・関心を高め、読書推進と図書プラザの利用促進を図る。	①こどもの読書週間では例年特別展示や上映会、工作教室を実施している。特に工作教室は参加者から好評を得ている。秋の読書週間では例年の特別展示、リサイクル市、映画上映会に加えて、北海道文学館と共催の朗読会を実施し好評に終了した。事業自体も年々定着しており、事業効果が高い。  ②あおぞら図書館事業では、青少年教育で実施している放課後子ども教室と連携し好評に終了した。  ③図書プラザの業務を体験することで、図書プラザへの理解を深め、本の活用方法等を学ぶ機会となっている。  ④当町出身の女流詩人「森みつ」の業績を讃え、少年少女の文芸振興を図ることを目的に実施し、各学校との連携を図り効果を上げている。図書プラザ内に森みつさんを紹介する特設コーナーを設置し、所蔵作品や写真パネル、「北海道讃歌」のレコードを展示。学校掲示用のポスター配布、児童生徒が郷土資料館前の石碑を見に行く取り組みを行いました。  ⑤学校図書室の利用促進ため、図書プラザから町内小中学校へ年間 5,400 冊の図書を長期に貸出をして、連携及び学校図書室の有効活用を図っている。	近年の読書離れが進む中、各種事業を推進することにより、図書プラザの利用者増を図り、また、読書に興味関心を抱かせる効果を期待するとともに、展示や装飾を工夫するなど、来館者に新鮮さとタイムリーな情報の提供に心がける必要がある。故・森みつ氏の町民周知は郷土資料を活用しながら継続して実施し、文芸賞への関心を高める必要がある。  【今後の課題と必要な取組】 ○図書プラザ事業や展示装飾の継続と工夫 ○森みつ氏に関する周知の継続	A	A	

	施策	施策に対する計画内容	評価内容	今後の課題と必要な取組	内 部 評 価	外 部 評 価	特記事項
図書プラザ	連携事業の推進	乳幼児と保護者に早い段階での絵本のふれあいを通じて、乳幼児そのものよりも保護者に対する読書推進を図ることで、絵本に触れずに学童期に入る子どもの減少を図るとともに、図書プラザの利用促進を図る。  ①ブックスタート事業 ②セカンドブック事業	生後4ヶ月の乳幼児健診に出向き、職員が図書プラザのPRとブックスタートバック（絵本、布製図書バックなど）のプレゼントを行うとともに、ボランティアサークル「ぐっ・ぱ」の会員が、乳幼児と保護者に対し絵本の読み聞かせを行っている。 図書プラザのPRをするとともに、保護者に対し、読み聞かせの手法や絵本の選び方、絵本を聞かせることによる乳児への効果についても話すことにより成果を上げている。 26年度より新たな事業として、3歳児健診の対象者に5種類の中からお好みの絵本1冊をプレゼントしている。 家庭においても絵本をとおして親子のコミュニケーションを深め、また幼少期から本に親しむ機会を増やすことができる。 健診会場でお話した親子が図書プラザを訪れてくれるきっかけとなっており、絵本への関心を高めることにつながっている。	保健福祉課主催の乳幼児健診を活用することにより、ほぼ全ての保護者に対し、絵本の大切さや、読み聞かせをとおした親子のふれあいの必要性を認識する良い機会となっているため、引き続き他部署と連携し事業を実施したいと考えている。 更に、事業内容やボランティアサークル「ぐっ・ぱ」の活動をひろく周知するなど、事業の認知度の向上をはかるとともにサークルの新規会員を増やす取組を行う必要もある。  【今後の課題と必要な取組】 ○ボランティア団体の育成と支援 ○就学前児童と保護者への更なる支援充実	A	A	
郷土資料館	郷土資料館教育普及活動事業の推進	郷土に関する歴史、自然科学等の知識を高め、地域形成者としての意識を高揚を図る。  ①ふるさと再発見講座 ②特別展 ③学校教育での利用	①ふるさと再発見講座では「ふるさと文化財めぐり」「名勝ピリカノカ幌尻岳学習会①」「名勝ピリカノカ幌尻岳学習会②」を実施した。特に幌尻岳学習会②では75名の方が参加し会場がほぼ満員となった。 ②特別展では「ふるさとの伝説昔話パネル展」を実施した。資料館だけの展示ではなく、新冠小学校や朝日小学校へも移動展示を行い、授業で紹介した。 ③学校での利用は、社会化見学や総合的な学習の時間で資料館を見学したり、トンボ玉製作体験を通じてアイヌ文化を楽しく学んだ。資料館や学芸員の特性を、学校の授業で活かすことができた。	ふるさとの歴史や自然について、各種観察や学習会を通じて多くの方に伝えることができた。 平成26年度は、名勝ピリカノカに指定された幌尻岳の学習会を行い、知られざるアイヌ文化と、雄大な自然について紹介した。特に、幌尻岳の自然学習会は多くの方が来場し、関心の高さがうかがえた。文化財をテーマとした学習は参加人数が少ないう傾向があるが、興味関心をいざよう内容に心がけた点は評価できる。ただ、内容的に難しくなりがちなので、あまり難解な内容としないよう事業展開を図りたい。  【今後の課題と必要な取組】 ○楽しみながら学習できることを提供する。	A	A	
	ふるさと伝承活性化事業の促進	これまでエコミュージアム石碑建立やふるさとの木看板、万里のチャシ、伝承看板の設置を行ってきた。これからはこの教育資源を活かし、また新たな方向性を見出しながら、文化財の息づく町づくりを目指す。  ①大狩部御立所案内看板を更新とエコミュージアム整備 ②資料館野外展示の充実：新冠郷土文化研究会と連携 ③ふるさとカルタの活用促進 ④「新冠百話」発刊に向けた取組み	①古くなり破損していた、大狩部御立所公園の看板を更新した。御野立所の歴史的経緯を、簡潔にわかりやすく掲示できた。あわせて、エコミュージアム石碑やふるさとの木近辺の草刈を行い、環境美化に努めた。 ②資料館の野外展示「万里のチャシ」について、老朽している横木を取替えた。新冠郷土文化研究会とともに、連携しながら充実させることができた。 ③ふるさとカルタでは、児童館事業で使用した。カルタを楽しむだけでなく、町の歴史や自然、町の産業を紹介できた。また、国内研修においてもカルタを使用し、新冠のことを沖縄の子どもに伝えることができた。	資料館事業の大きな特色のひとつとしてエコミュージアム活動がある。新冠町全体を博物館のように捉え、町内に史跡を紹介する石碑や、ふるさとの木、アイヌ伝説の看板を設置してきた。これを広く紹介するための案内マップを掲げ、さらに文化財めぐりといった活動を通じて、より多くの方に本町のふるさと文化を伝えることができていく。しかし、まだ十分に浸透していないところもあるので、今後は事業や広報活動の方法も模索しなければならない。新冠郷土文化研究会の協力により、野外展示が充実してきた。郷土資料館は地味な存在であるが、野外展示という見えやすい形で先人の歴史を表現できていることは評価に値すると思う。 ふるさとカルタは、各種社会教育事業で活用し、町の成り立ちをカルタを通じて紹介している。子どものうちからふるさとの歴史や自然、産業を知ること	A	A	

	施策	施策に対する計画内容	評価内容	今後の課題と必要な取組	内 部 評 価	外 部 評 価	特記事項
			④「新冠百話」は、レ・コード館20周年を迎える平成29年度の発刊を目指している。刊行物内容の構築や記録資料の整備、データ化を施した。	は、新冠町民として誇りを持つためにも大切なことだと感じている。 「新冠百話」については、記録資料の整備やデータ化を行い、それをもとに刊行物の内容を検討することができた。今後は、読みやすい内容にすべく、さらなる編集活動を行う必要がある。  【今後の課題と必要な取組】 ○エコミュージアムの整備と広報活動 ○郷土資料館野外展示の整備と充実 ○「新冠百話」の編集			
郷土資料館	郷土資料館整備の推進	「新冠の歴史、民俗、産業、自然等に関する資料を収集し、保管展示して広く町民の利用に供する」という郷土資料館本来の運営を充実させるため、施設や資料の整備を行う。  ①資料整理と収蔵庫の整備 ③資料館本館の老朽箇所の改善	①レ・コード館第2収蔵庫の一室に新たな棚を設置しながら、資料館本館のあらゆる収蔵資料を収蔵した。保管した資料を、展示や事業での利用を目指し、データ処理や整然とした陳列を行っている。  ③資料館の老朽箇所を整備するものとして、トイレを全面的に改修し、環境整備を施した。	レ・コード館第2収蔵庫に新たな棚を設置し、資料館本館の収蔵資料を整然と保管することができた。近年は、さらなる資料整理や登録などを行い、資料の活用も念頭に入れた取組に着手している。しかし、少ない人員の中で、日々の業務をこなしつつ資料整理を行うのはとても困難で、未整理の資料がまだ多数残っている。貴重な資料を適切に保管し、展示や事業で利用するためにも、今後は資料館の体制整備も視野に入れていかななくてはならない。資料館は開館して30年以上が経過し、老朽破損している箇所がまだあるので、今後も継続的に改善を行い、利用しやすい環境をつくる。展示内容については、説明パネルの増設や資料の入れ替えを行い、わかりやすい展示を目指している。しかし、充分ではないところがあるので、更新して充実を図る必要がある。  【今後の課題と必要な取組】 ○古い展示内容の更新 ○資料整理と収蔵資料のリスト化 ○施設の計画的な修繕と改修 ○資料館職員の体制検討	B	B	
	文化財の保護	新冠が有する文化財を保存保護し、大切な歴史を後世に伝えられるよう各種取組を行う。  ①アイヌ名勝ピリカノカ幌尻岳に関する活動  ②埋蔵文化財の保護  ③天然記念物 新冠泥火山のに関する対応	①幌尻岳が名勝ピリカノカに指定されたことから、学習会において紹介することができた。しかし、最もわかりやすい形で紹介できる、案内看板の設置には至っていない。  ②日高自動車道建設工事に伴う、埋蔵文化財の試掘調査について連絡調整を行った。平成26年度は用地取得の関係から、調査は実施していない。  ③新冠泥火山は、地質関係の研究者や大学関係者が調査見学に来る。泥火山が牧場内に立地していることから、調査目的の見学については、競走馬に影響がないよう慎重に対応している。	学習会を通じて、幌尻岳が名勝ピリカノカに指定されたことをくわしく説明した。しかし、学習会に興味を持つ人は限られており、より多くの人に文化財のことを知っていただくには、案内看板の設置が最も効果的な広報だと考える。今後は看板内容や設置場所の検討を行う必要がある。  日高自動車道に建設工事における埋蔵文化財の調査は、試掘調査を行って、遺跡の有無を確認する必要がある箇所が存在するので、用地取得等準備が整いしだい調査協力する。  【今後の課題と必要な取組】 ○名勝ピリカノ」カ広報活動の検討 ○日高自動車道工事に係る埋蔵文化財調査	B	B	

	施策	施策に対する計画内容	評価内容	今後の課題と必要な取組	内 部 評 価	外 部 評 価	特記事項
青少年教育	少年国内研修交流事業の継続	国内の自然・文化・歴史に接し、様々な体験学習と交流を通じ、広い視野を持った自主性と協調性豊かな郷土を愛する少年のリーダー育成を目指す。  ○事前研修 3回 ○現地研修 沖縄県那覇市・金武町他 ○事後研修 3回 ○報告会	歴史や風土の違いを研修地において少年期に体感し、また、同じ世代との交流を持つことで人と人の交わりが意味することを知ることは、教育効果が高い。 また、事前研修を通し研修生としての心構えや、研修する意味を指導したことで、目的意識を持って課題解決に取り組むことができた。現地研修では見聞したこと・体験したこと全てが学習となり、事後研修においても研修成果をまとめ、発信するために学びを整理するなど、自らが研修事業を作り上げることを実践させることができた。事前・現地・事後研修の一貫した事業推進が効果を与えている。	特別な支援を要する児童への対応、それに伴っての引率職員増員などの受入体制の整備が求められる。また、現地子ども会との交流をより充実したものにするために、民泊形式等を念頭に入れて交流の仕方を再検討し、平成28年度の新潟町来町を視野に受入体制を整備していく。  【今後の課題と必要な取組】 ○現地子ども会との交流の充実 ○受入事業の対応の充実	A	A	
	青年団体への支援	青年期は自我を確立していく時期であり、さまざまな社会活動を通しながら、研鑽を深め、社会人としての資質の向上に努めることが重要である。 しかしながら、若年層が年々減少する中、個人主義志向が高く、積極的な地域活動の参加は少なくなっているのが現状であり、特に青年団活動は全国、全道的に衰退している。そういった中、当町においては全国組織を持つ新冠町青年団体協議会と、地域産業青年団体で構成される町独自の青年団体である新冠町青年団体連絡会議の2団体がまちづくりに寄与した積極的な活動をしている。	○青年団体協議会 ・新規会員加入促進交流会・優勝の塔ワインの夕べ・成人の集い（協力）  ○青年団体連絡会議 ・ろうそくだせ・にいかつぶふるさと盆おどり・イルミネーション点灯式  2団体とも、町づくりに寄与した活発な活動を行っている。特にふるさと盆おどりでは、町の一大イベントとなり、ふるさと意識の向上に繋がっている。	全国的に青年活動が衰退している中、当町における青年団体は、町づくりに寄与した積極的な活動を実践しており、また、継続的に行っている。今後も指導助言するとともに、積極的な活動支援をする必要がある。  【今後の課題と必要な取組】 ○会員相互の交流促進への支援	A	A	
	青少年健全育成委員会等への支援・青少年健全育成事業	激動する社会情勢の変化は近代の子ども達にとって良い影響を与えるものだけではない。 子どもを取り巻く団体の連携を深め、社会浄化に努めるとともに、地域による子どもの健全育成を図ることを目的に新冠町青少年健全育成委員会は組織された。 また、地域による子どもの育成を図り、子ども達に規律や生活習慣の改善することを目的に青少年健全育成事業を実施している。  ①新冠町青少年健全育成委員会事業 ②青少年健全育成事業	①年数回の会議の中で子どもを取り巻く環境や管内的な青少年による犯罪等の情報共有を行っている他、ふるさと祭りには巡視活動等も実施しており、小中学校が長期休業に入る前に春夏冬の3回「生活のきまり」を地域に発行し声かけ運動を呼びかけている。 また、青少年健全育成者等研修会を開催し、もとコンサドーレ札幌の曾田雄志氏を講師に招き『地域における健全育成の推進について』講演を行った。  ②つうがく合宿事業、自然体験事業を実施しており、つうがく合宿では、4泊5日青年の家に宿泊しながら学校へ通学し、規律や規則正しい生活を学ぶとともに、異学校の子ども達との交流を深める貴重な体験の場となっている。また、冬季間に1泊2日の合宿を行い、生活習慣定着の検証、振り返りを行った。 自然体験事業については、地域の協力により田植え、稲刈りの産業体験や、季節に応じた大自然のフィールドを活用した遊び体験を通じ、生きる力を育むことができた。	関係機関の協力により社会浄化、地域による健全育成が進められ、町内において青少年による問題行動は激減しているのが現状であり、効果が高く今後も継続した支援が必要である。 青少年健全育成事業の「つうがく合宿事業」については異学校・異学年間交流の面では効果が高いが、合宿中に体調を崩したり、寝る時間が遅くなったりと逆効果になってしまう面もあることから、事業推進の在り方を検討する必要がある。また、冬季間の1泊2日での実施については検証のみの実施であれば取組む必要は無いと考える。 「自然体験事業」については毎年同内容での実施となっていることから、漁業体験など新たな取組を検討する必要がある。  【今後の課題と必要な取組】 ○関係機関との連携強化による事業充実 ○事業内容の見直し・充実	A	A	

	施策	施策に対する計画内容	評価内容	今後の課題と必要な取組	内 部 評 価	外 部 評 価	特記事項
青少年教育	新冠町放課後子どもプラン事業の推進	放課後における子どもの安心・安全な居場所づくりをすすめるとともに、遊びをおし仲間意識やきまりを守り、学習時間や文化活動、スポーツ活動を取り入れ、少年期の多感な時期にあらゆる体験をすることにより健全な精神を育むことを目的に開設する。  ・新冠小学校区（町民センターにおいて開設） 月～金曜日 14：30～16：30 ・朝日小学校区（朝日小学校において開設） 月・火・水・金曜日 14：30～15：30	地域の方に“安全管理員”として従事してもらい、放課後の子どもの安心・安全な活動場所の確保に努めることができた。また、地域のスポーツ団体・文化団体等の協力により、様々な体験活動を子ども達に提供することができた。 また、新冠小学校教室においては週1回学習支援員を配置したことで、子ども達の学習時間がより充実したものとなった。 朝日小学校教室に関しては毎週月曜日も追加実施したことで、より安全な放課後の居場所作りに努めることができた。	新冠小学校教室については、登録している児童がその日に利用するのかどうかの確認が十分にたれず、所在が不明となった事例もあり、より厳重な安全管理体制が求められた。さらに、事故及び問題発生時の対応として、連絡調整と対応指示が不十分となり、対応が後手後手となるケースもあったことから、危機管理体制も整備する必要がある。 また、国の施策である「放課後子ども総合プラン」の推進として一体型の「放課後児童クラブ」・「放課後子供教室」の取組が求められていることから今後のあり方について検討する必要がある。  【今後の課題と必要な取組】 ○利用形態による登録方法の見直し ○事故・災害発生時の管理体制整備	A	A	
高齢者教育	いきいき大学の充実	少子高齢化社会の中、シニア世代からの地域参画は町づくりを躍進させる大きな存在であり、また、人生経験に基づく豊富な知識は家庭の教育力が問われている現代において、地域教育力の要となる存在である。 そのため、高齢者が積極的に参加できる学習環境の整備充実を図り、健康づくりの増進や生きがいづくりを提供するとともに、新たな人材を発掘、育成し世代間交流や各種団体との連携を図り、より社会参加のしやすい環境の整備を促進するなど必要がある。  ○いきいき大学の実施	いきいき大学では、開校式から修了式まで全7回の学習会を行った。 学習会の内容は、苦小牧バスツアー、町内施設見学と歴史探訪、フラワーアレンジメント、押し花教室、レコード鑑賞等を行い、好評に終了した。	参加者の固定化により参加率が低下傾向であったが、より魅力ある教室の内容を検討するため、随時アンケートを行ってどのような学習要望があるのか耳を傾けた。高齢者の声をもとに、事業展開を図ったので、参加者からは概ね好評の声を聞いている。  【今後の課題と必要な取組】 ○事業内容の充実	A	A	
	各種関連機関との連携	高齢者の積極的な社会活動参加の取り組みとして、保健福祉課等各種関連機関と連携し、熟年の経験や知恵を活かし、地域社会に貢献できるように各種事業の参加を促す。  ○保健福祉課との合同学習会	相互の参加者が、それぞれのニーズにあった事業に参加することで健康で生きがいのある生活を楽んでいる。	相互の事業内容については、それぞれ工夫されて実施しているが、今後もさらなる連携を強化する必要がある。いきいき大学と保健福祉課それぞれの特性を活かし、高齢者が生きがいを持てるような活動をしていきたい。  【今後の課題と必要な取組】 ○各関連機関との連携強化	A	A	

【社会教育施設】		
社会教育施設	事業内容	住所・電話FAX番号
レ・コード館 (社会教育課)	・各種社会教育事業 ・レコード所蔵 892,475枚	北海道新冠郡新冠町中央町1-4 電話 0146-45-7833 FAX 0146-45-7778
図書プラザ (レ・コード館内)	・読み聞かせ ・移動図書(アニマル号) ・蔵書数 88,967冊	北海道新冠郡新冠町中央町1-4 電話 0146-45-7777 FAX 0146-45-7778
郷土資料館	・新冠町の歴史の データベース化 ・ネイチャークラブ	北海道新冠郡新冠町中央町26-1 電話 0146-47-2694 FAX 0146-47-2694
青年の家	・青少年活動宿泊施設	北海道新冠郡新冠町字高江16 電話 0146-47-2258 FAX 0146-47-4373
スポーツセンター	・各種スポーツ指導 ・健康体操 ・総合型スポーツクラブ	北海道新冠郡新冠町中央町25 電話 0146-47-2922 FAX 0146-47-2922
町民センター	・ニコニコクラブ (放課後子ども教室) ・サークル活動 ・トレーニングルーム	北海道新冠郡新冠町字中央町25-6 電話 0146-47-2106 FAX 0146-47-4080
節婦体育館	・開放事業	北海道新冠郡新冠町字節婦24-2

【社会教育行事等】	
月	社会教育の主な事業
4	・楽器体験講座 ・町民グランド開設
5	・昭和音大ミニコンサート ・いきいき大学開講
6	・レコード館誕生記念事業 ・吹奏楽クリニック ・健康体操(NI・SPO事業) ・釧路芸術館、札幌市資料館出張レコードコンサート
7	・吹奏楽クリニック ・北海道開拓の村出張コンサート ・水泳教室
8	・管内吹奏楽祭 ・音楽教室 ・ふるさと盆踊り
9	・ジャズフェスティバルコンサート ・子ども芸術劇場 ・老人スポーツ大会
10	・新冠町文化協会総合展示会
11	・新冠町文化協会文化祭 ・ジュニアジャズ定期演奏会 ・つうがく合宿(1) ・優勝とワインの夕べ
12	・市民劇団ど・こ〜れ定期公演 ・女性事業(そば打教室)
1	・少年国内研修 ・森みつ芸賞 ・農水新冠賞授賞式 ・成人式 ・ウインターフェスティバル
2	・札幌市資料館出張レコードコンサート ・つうがく合宿(2) ・昭和音大パートナーシップ、アウトリーチコンサート
備考	・青少年健全育成事業 ・にこニコクラブ事業 ・学校開放事業 ・図書館夜間開放事業 ・ブックスタート(1回/月) ・女性教室 ・3歳児セカンドブック事業 ・レコードコンサート ・NI・SPO体験教室の開催 ・ボランティア体験講座 ・家庭教育学級事業 ・プラスワンセミナー ・いきいき大学 ・自然体験学習 ・生涯学習講座 ・郷土資料館事業

【学 校】・【認定こども園】 ( )は特別支援学級数			
学校・園名	校長・教頭 園長・保育所長	学 級 数 児童生徒数	住所・電話FAX番号
認定こども園 ド・レ・ミ	横井 敏晴 大沼 ひとみ	※下記の 表に記載	北海道新冠郡新冠町字東町18-2 電話 0146-47-2489 FAX 0146-47-2903
新冠小学校	中村 等 昇 洋一	9(3)学級 231名	北海道新冠郡新冠町字中央町20-1 電話 0146-47-2103 FAX 0146-47-2201
朝日小学校	盛永 明寿 金光 宏明	6(2)学級 78名	北海道新冠郡新冠町字朝日295-41 電話 0146-47-2909 FAX 0146-45-7625
新冠中学校	高野 卓也 深堀 美紀	6(1)学級 151名	北海道新冠郡新冠町字北星町21-2 電話 0146-47-2905 FAX 0146-47-4412

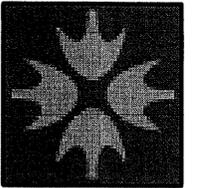
※保育・園児数

保育クラス	保育人数	保育クラス	保育人数
0歳児(いちご)	2	3歳児(さくらんぼ)	34
1歳児(みかん)	7	4歳児(もも)	26
2歳児(ばなな)	12	5歳児(めろん)	45
認定こども園ド・レ・ミ入園児総数			126

【学校行事等】

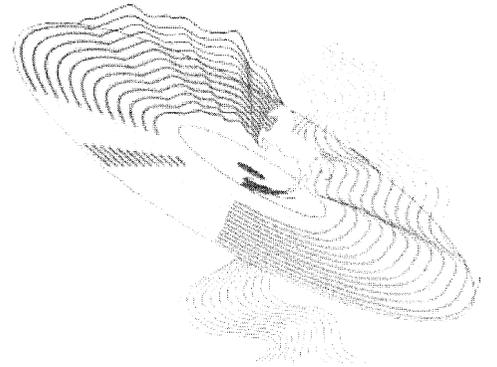
学校名	主 な 行 事
認定こども園 ド・レ・ミ	・入園式(4/3) ・卒園式 ・運動会(7/6) ・おゆうぎ会(11/15) ・お泊り会 ・避難訓練(毎月) ・小中学校との交流会
新冠小学校	・入学式(4/8) ・卒業式(3/20) ・運動会(6/15) ・学習発表会(10/17) ・修学旅行(5/14-15) ・宿泊学習(7/3-4) ・地域参観日(9/10) ・こども園との交流会 *開校記念日(10/12)
朝日小学校	・入学式(4/9) ・卒業式(3/18) ・運動会(6/7) ・学会(10/25) ・修学旅行(9/3-4) ・宿泊学習(7/3-4) ・地域参観日(11/28) ・こども園との交流会 *開校記念日(6/12)
新冠中学校	・入学式(4/8) ・卒業式(3/13) ・体育祭(5/31) ・学校祭(9/18-19) ・修学旅行(5/8-10) ・こども園との交流会 ・地域参観日(2/2) *開校記念日(4/10)

3校1園のオール新冠



平成26年度

# 新冠町の教育



## 新冠町民憲章

わたしたちは、日高の秀峰幌尻岳をのぞみ、緑ゆたかな大地と茫洋たる太平洋にはぐまれた新冠の町民です。

わたしたちは、先人の開拓精神を受けつぎ、たくましく未来におかして躍進する住みよい町をつくるため、この憲章を定め、実行します。

- 1 いつも、丈夫なからだをつくり、いきいきと働く町にします。
- 2 いつも、明るくあいさつをかわし、きまりを守る町にします。
- 3 いつも、たがいに助け合い、助け合う町にします。
- 4 いつも、すすんで学び、文化の高い町にします。
- 5 いつも、まわりを美しく、自然を大切にする町にします。

〒:059-2492 北海道新冠郡新冠町字北星町3番地の2

## 新冠町教育委員会

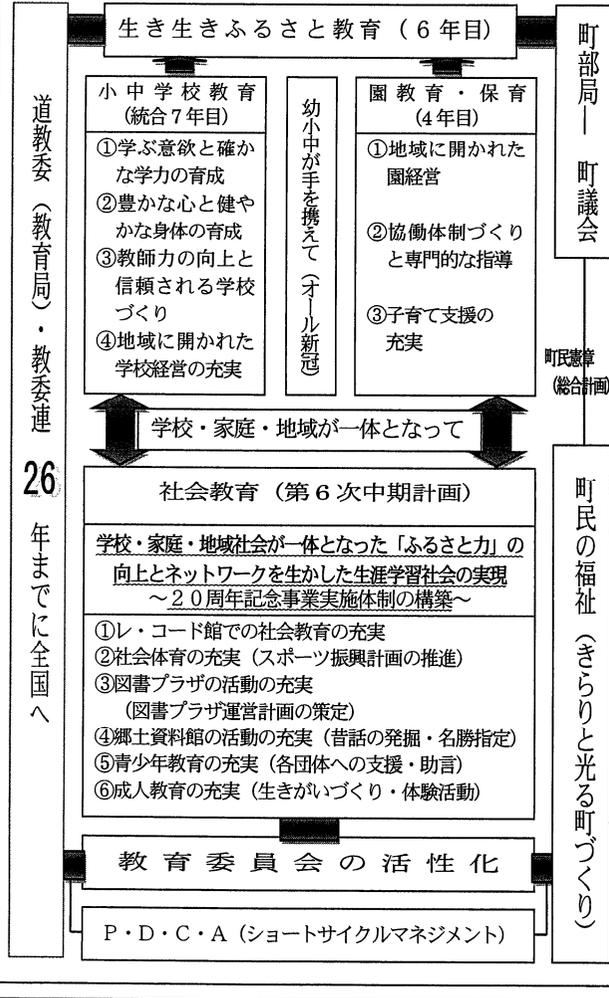
電話 0146-47-2547

FAX 0146-47-2500

# 新冠の教育

## 平成26年度 新冠町教育行政推進全体構造図

こども園・義務教育を修了するにふさわしい学力と社会性の育成  
～こどもの連続した学びの保障と自己肯定感・意欲の向上～



### 『生き生きふるさと教育』

…ふるさとを知り、ふるさとを語り、ふるさとを創る教育の充実…

□学校に求められる質の向上□

- ①学校経営マネジメント ②教育課程の系統性 ③教職員の指導

□学力の3要素 □

- ①基礎的・基本的な知識及び技能  
②課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力  
③主体的に学習に取り組む態度

### 学校教育 その1 『生きる力を育む学校教育の推進』

#### I 学ぶ意欲と確かな学力の育成

- 学ぶ意欲や重要性の認識と学習内容定着の乖離に対する指導・方策の工夫
- ICT機器の全教室配備とタブレットの活用
- 学習支援員の配置と指導体制の支援、映像機器の充実 (ICT活用)
- チャレンジテストの活用、放課後補充指導、長期休業中の学習サポートの活用
- 資格取得支援助成 (英語検定・漢字検定等)
- 特別支援教育の支援強化 (コーディネーター、発達支援センター・保護者連携)

#### II 豊かな心と健やかな身体の育成

- いじめ防止条例の取組 (生活改善チェックシート・人間関係づくりプログラム)
- 心の教育=心のノートの活用、道徳の時間の充実・公開
- 芸術劇場の開催～芸術性の高い演劇鑑賞を子どもたちに
- 体育専科教師の配置、新体力・運動能力調査支援、スポーツの生活化の奨励
- 虫歯予防の取組 (フッ化物洗口～調査・実施)

### 学校教育 その2 『きらりと光る魅力ある学校づくり』

#### III 教師の指導力と信頼される学校づくり

- 家庭学習の手引きの見直し～学習時間の確保・生活習慣の確立支援
- 現職教員研修講座の継続～初任者層・転入職員への支援
- 公務員としての服務規律保持と法令順守、内外に開かれた学校文化の醸成

#### IV 開かれた学校経営の充実

- 積極的な情報発信と学校評価の実施・公開、学校評議員の積極的な活用
- 給食会計の学校現場の負担軽減、教育委員会の責任ある実施体制の検討
- 全国学力・学習状況調査の結果公表～情報公開を基本とし、慎重に検討
- 町PTAとの連携、家庭教育との連携、特色ある取組への支援

### 認定こども園 ド・レ・ミ

- 5周年記念事業の構築
- 子ども・子育て支援

#### I 地域に開かれた園経営

- アンケート結果の公表・改善、各種行事の拡充継続による開かれた園経営
- 幼小中連携学習の継続と小1プロブレムの解消の取組
- 高齢者入所施設訪問交流、自治会・ボランティア団体との連携・協力の推進
- 公開参観日の継続と個人懇談、教育相談の実施

#### II 協働体制づくりと専門的な指導

- 目的意識をもった人間関係の基礎・社会生活の基礎を育む保育の実施
- 計画的な視察研修・外部講師の招聘による研修の実施による指導力向上
- 保育環境の整備～図書プラザの支援、ボランティアサークルの協力

#### III 子育て支援活動の充実

- 園だより・保健だよりの内容を充実した情報発信
- 子育て支援のための講演会開催の検討
- 子育て支援センター、保護者の勤務・ニーズに応じた内容継続による保育の提供
- 個人懇談の回数・時間の拡充、こども園への要望・家庭内の悩みの共有など子育て相談活動を充実

### オール新冠体制

- 認定こども園 ド・レ・ミ
- 子育て支援センター

新冠小学校

朝日小学校

新冠中学校

《新冠町教育委員会》

管理課  
管理G

教育委員会

社会教育課  
生涯学習G

レ・コード館

図書プラザ

スポーツセンター

児童館

郷土資料館

日高判官館青年の家

放課後子ども教室

節婦体育館

### ……… [社会教育の推進] ………

～20周年記念事業の検討着手～

- 1 特色ある社会教育の推進**  
○レ・コード館の音楽推進計画の策定と音楽による町づくり
- 2 社会体育の充実**  
○スポーツ振興計画の着実な推進
- 3 図書プラザ活動の充実**  
○利用者ニーズの把握とそれに対応した事業の推進  
○3才児セカンドブック事業
- 4 郷土資料館の活動の充実**  
○データベース化、調査・研究 (文化財・昔話など) の推進、展示の工夫による利用者のニーズの掘り出し
- 5 青少年教育の充実**  
○国内研修事業による相互訪問交流の推進  
○厳粛で思い出に残る成人式の実施  
○子どもたちの居場所づくり、生活習慣形成のための放課後子供教室の整備と体制づくり  
○道社会教育主事の活用  
○つうがく合宿の2期制
- 6 成人教育への支援**  
○いきいき大学の開設と高齢者の生きがいづくりの支援
- 7 社会教育委員協議会の活性化**  
○情報発信活動の強化や積極的な提言による事業推進

### ＝教育委員会＝ 『学び続ける教育委員会』

～自らの研修と町民ニーズに応える教育行政の積極的な推進～  
・子育て支援の重視と積極的な情報発信

- ① 決定した方針の進行管理に意を用い、次の3点を重視する  
○ P・D・C・Aの繰り返し  
○ 自らの学びへの支援  
○ 町づくり・人材育成の推進
  - ② 教育委員会の評価＝点検・評価・公表・工夫と改善
  - ③ 学校体制への自立的な見直しへの指導・助言  
○現場力の養成と発揮 ○想定を超えた判断 ○日常の危機管理
  - ④ 奨励事業 (教育賞、森みつ賞、農水賞など) の継続と児童生徒への励まし活動の推進
  - ⑤ 管内の課題解決に向けた、管内教育委員会との連携
  - ⑥ オール新冠体制の取組 (幼小中連携・接続、情報連携から行動連携へ)
- ※ 全道小学校長研究大会・地区PTA研究大会への全面支援